# ふくさき町の教育

福崎町教育委員会
事務事業点検・評価報告書
（平成２６年度事業分）

平成２７年１２月

福崎町教育委員会

＜目　　次＞

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　実施方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅲ　事務事業点検・評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

学校教育課

（１）就学前の子育て支援事業　・・・・・・・・・・・・・・　５～20、40～42

（２）教育委員会事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21～25

（３）学校関係事業・・・・・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・　26～39

（４）給食センター事業・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・　78～81

社会教育課

（５）社会教育事業・・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　43～61

（６）芸術・文化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15、16、18

（７）図書館事業・・・・・　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

（８）文化財事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62～72

（９）社会体育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73～77、82～90

Ⅳ　学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　91

Ⅴ　参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　97

■平成２６年度福崎町教育の努力目標・・・・・・・・・・・・・・・・　99

■福崎町教育委員会事務事業評価委員要綱・・・・・・・・・・・・・・　105

## Ⅰ　はじめに

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成２０年４月１日施行）され、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされました。

福崎町教育委員会では、法律の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成２６年度における教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

町民の皆様にこの報告書をご覧いただき、教育委員会の取り組みに対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい福崎町教育の実現を目指していきたいと考えています。

**地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）**

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第二十六条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ　実 施 方 針

教育委員会の事務の管理・執行の状況の点検及び評価を実施するに当たり、次のとおり実施方針を定めます。

１　趣　　旨

福崎町教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況（教育長及び事務局の事務執行を含む。）について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていきます。

２　実施方法

ア　点検及び評価は、学校教育課及び社会教育課が所管している事業を対象とします。

イ　点検及び評価は、毎年度１回実施するものとし、前年度の事務・事業の進捗状況をチェックするとともに、それぞれの課題や今後の取組の方向性を示すものとします。

ウ　教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「外部委員」を置き、その意見を聴取します。外部委員は、教育に関し学識経験を有する方など外部の方々の中から、教育委員会が委嘱し、任期は１年とします。なお、初年度はその年度末とします。また、再任は妨げないものとします。

エ　教育委員会は、事務・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した後、点検及び評価を行います。

オ　教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を町議会へ提出し、報告書は町民に公表するものとします。

カ　教育委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、次年度の事業等を策定するものとします。

３　実施時期

前年度分の事務・事業を取りまとめた評価シートをもとに当該年度に実施します。

# Ⅲ　事務事業点検・評価表

## ３．民　生　費

保育と就学前教育の面では、高岡幼児園が完成し、すべての校区で幼保一体化運営が可能な環境が整いました。

⑵　児童福祉費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 1.児童福祉総務費 | 81,897,000円 | 79,283,985円 | 2,613,015円 |

平成27年４月から施行の子ども・子育て支援新制度に向け、福崎町子ども・子育て支援事業計画を策定するとともに、子ども・子育て支援システムを導入しました。

| 事業名 | 子ども子育て支援事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 平成27年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」の実施に向け、子ども・子育て支援事業計画の取りまとめを行い、「福崎町子ども・子育て会議」において審議し策定しました。また、制度を円滑に運用していくため、子ども・子育て支援システムを導入し、施行に備えました。 |
| 成果 | 平成 26 年度は平成 25 年度に行ったアンケート調査の結果に基づき、「子ども・子育て支援事業計画」の内容について子ども・子育て会議で審議を重ね、計画を策定しました。<br>子ども・子育て支援事業計画の作成はコンサルタント会社に委託しました。<br>また、平成25年度から繰り越した子ども・子育て支援システムの導入を行い、新制度の実施に向けた準備を整えました。<br>■福崎町子ども・子育て会議<br>○委員構成　15 名<br>・子どもの保護者　５名<br>・子ども・子育て支援に関する事業に従事する者　５名<br>・子ども・子育て支援に関し学識経験のある者　５名<br>○会議開催　５回（平成26年６月18日、８月25日、９月24日、平成27年１月19日、２月19日）<br><br>■子ども・子育て支援事業計画策定<br>○計画の主な内容<br>・福崎町の子どもと子育てを取り巻く現状の分析<br>・次世代育成支援対策行動計画における重点施策の検証・評価<br>・教育・保育の量の見込みと提供体制の確保方策<br>○計画策定業務委託業者　　(株)グリーンエコ<br>■子ども・子育て支援システム導入<br>○業務の内容<br>サーバ機器、パッケージソフトの導入及び検証作業等<br>○導入業務委託業者　　(株)さくらケーシーエス<br>□効果・達成度<br>福崎町子ども・子育て支援事業計画を作成し、平成27年度から５年間の指標ができたほか、システムを導入し、「子ども・子育て支援新制度」の円滑な施行に向けた準備が整いました。<br>□課題・改善<br>計画の進捗については子ども・子育て会議の場において点検、見直しを行い、計画の内容に沿った事業を展開していく必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　(単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 24,906,000 | 22,841,897 | 19,980,000 | | | 2,861,897 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 3.保育所費 | 576,123,000円 | 567,998,380円 | 8,124,620円 |

保護者の就労等により家庭において十分保育することができない児童を保護者にかわって保育を行い、児童の健全な心身の発達を図るため、保育所の管理・運営に要した費用です。

主な支出は、職員16名、臨時職員21名に係る人件費、アルバイト保育士賃金、私立保育所及び町外公立保育所運営費委託料、事務費等です。

■保育所在籍児童の保育料の階層別比率

（単位：人）

| 階層区分 | 第１階層 | 第２階層 | 第３階層 | 第４階層 | 第５階層 | 第６階層 | 第７階層 | 第８階層 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 年間累計 | 26 | 730 | 886 | 1,504 | 2,199 | 1,361 | 106 | 54 | 6,866 |
| 月平均 | 2 | 61 | 74 | 125 | 183 | 113 | 9 | 5 | 572 |
| 比率（%） | 0.4 | 10.6 | 12.9 | 21.9 | 32.0 | 19.8 | 1.6 | 0.8 | 100.0 |

■保育所年間のべ入所児童数

（単位：人）

| 施設名 | | 定員 | 入所のべ児童数 | 入所状況 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ０歳児 | １・２歳児 | ３歳児 | ４歳以上児 |
| 田原保育所 | | 200 | 2,184（43） | 89（1） | 422（17） | 535（4） | 1,138（21） |
| 八千種保育所 | | 70 | 745（27） | 42（6） | 147（0） | 192（13） | 364（8） |
| 福崎保育所 | | 130 | 1,535（27） | 60（0） | 227（3） | 477（12） | 771（12） |
| 高岡保育所 | | 60 | 306（36） | 0（0） | 83（11） | 103（11） | 120（14） |
| 姫学保育園 | | 50 | 815（69） | 52（12） | 234（21） | 180（12） | 349（24） |
| サルビア保育園 | | 90 | 928（165） | 27（17） | 222（40） | 195（16） | 484（92） |
| 小計 | | 600 | 6,513（367） | 270（36） | 1,335（92） | 1,682（68） | 3,226（171） |
| 姫路市 | 姫路保育園 | 120 | 24 | | 12 | | 12 |
| | すごう保育園 | 70 | 12 | | | 12 | |
| | 青葉台保育園 | 45 | 1 | | | | 1 |
| | はぎ保育園 | 250 | 164 | 12 | 33 | 59 | 60 |
| | 保城さくらんぼ保育園 | 110 | 27 | | 15 | 12 | |
| | 香呂こども園 | 120 | 2 | | 1 | 1 | |
| | 安富中保育所 | 70 | 2 | | | | 2 |
| 市川町 | 甘地保育所 | 90 | 31 | | 7 | | 24 |
| | 川辺保育所 | 60 | 36 | | 12 | 24 | |
| | 屋形保育所 | 45 | 12 | | 12 | | |
| 神河町 | 神崎保育園 | 90 | 3 | 3 | | | |
| 加西市 | 富田保育所 | 120 | 19 | | | | 19 |
| | 北条保育園 | 120 | 20 | 20 | | | |
| 小計 | | | 353 | 35 | 92 | 108 | 118 |
| 合計 | | | 6,866（367） | 305（36） | 1,427（92） | 1,790（68） | 3,344（171） |

注（　）内は他市町からの受託児で外数

主な事業は、次のとおりです。

| 事業名 | 保育所管理費 |
|---|---|
| 事業 | 入所児童が心身ともに健やかに成長できるよう、快適で安全な保育所の運営、管理を行いまし |

内容

た。

保育の質の向上をめざし、関係機関主催の研修会への参加や、職員の計画により研修会を実施しました。

また、施設・設備等の修繕や害虫駆除を行い、施設の維持管理に努めました。

成果

町内公立保育所研修会等において、経験豊かな講師による保育実践を中心とした指導研修を実施しました。

また、施設等の不具合部分の修繕を行いました。

■　研修会実施内容

| | 実施日 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 幼保合同研修会 | 6月16日<br>6月23日<br>6月27日<br>7月9日 | 乳児保育の基本とマニュアル作り |
| | 6月19日 | 認定こども園に向けての幼児保育について |
| | 11月8日 | 公開保育と認定こども園に向けての幼児保育について |

■嘱託医報酬

・内科医　　760,400円

・歯科医　　530,270円

■　修繕関係

| 保　育　所　名 | 金　額（円） |
|---|---|
| 田　原　保　育　所 | 283,161 |
| 八　千　種　育　所 | 330,379 |
| 福　崎　保　育　所 | 557,156 |
| 高　岡　保　育　所 | 288,188 |
| 計 | 1,458,884 |

■委託料関係

| 区　　分 | 金　額（円） |
|---|---|
| 清　掃　委　託　料 | 188,460 |
| 植木剪定等委託料 | 83,538 |
| 電気設備管理委託料 | 602,400 |
| 警　備　委　託　料 | 619,488 |
| 物置解体移設委託料 | 87,480 |
| 計 | 1,581,366 |

成果

□効果・達成度

保育士の適正な配置や施設管理をおこない、児童が安全で快適な園生活を送ることができました。

保育士研修は、日頃の保育を省みる機会となり保育の質の向上に繋がりました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 入所・入園児童数 | 700人 | 594人 |

□課題・改善

近年、低年齢児からの入所が増加していることから、年度当初から保育士が不足している状況にあり、保育士の確保が今後の課題です。今後も児童の安全を確保しながら健全な認定こども園運営に努めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 22,024,000 | 19,995,791 | 97,000 | | 7,611,060 | 12,287,731 |

| 事業名 | 保育所事業費 |
|---|---|

**事業内容**

保育所ごとの保育目標により、入所児童の健康と安全を確保しつつ創意工夫を加えながら年齢に応じた保育を実施しました。

特別保育として、午後７時までの延長保育事業や、保護者の都合により緊急的・一時的に家庭で保育できない在宅児童の一時預かり事業を実施しました。

また、兵庫県が実施する「ひょうご多子世帯保育料軽減事業」に基づき、一定の基準に該当する世帯の第３子以降の保育料を助成しました。

**成果**

保護者の多様なニーズに対応するため、延長保育事業や一時預かり事業を実施しました。

多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、保育料軽減事業補助金を交付しました。

■延長保育事業利用状況（年間延利用者数）　（単位：人）

| 田　原 | 八千種 | 福　崎 | 高　岡 | 姫　学 | サルビア | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 493 | 32 | 922 | 86 | 945 | 374 | 2,852 |

■一時預かり事業利用状況（年間延利用者数）（単位：人）

| 福　崎 | 姫　学 | サルビア | 計 |
|---|---|---|---|
| 358 | 198 | 26 | 822 |

■保育材料代

| 保　育　所　名 | 金　額（円） |
|---|---|
| 田　原　保　育　所 | 1,757,006 |
| 八　千　種　保　育　所 | 640,161 |
| 福　崎　保　育　所 | 1,255,385 |
| 高　岡　保　育　所 | 449,242 |
| 計 | 4,101,794 |

■給食費等賄費

| 保　育　所　名 | 金　額（円） |
|---|---|
| 田　原　保　育　所 | 10,915,556 |
| 八　千　種　保　育　所 | 3,942,949 |
| 福　崎　保　育　所 | 7,924,451 |
| 高　岡　保　育　所 | 1,735,894 |
| 計 | 24,518,850 |

■備品購入状況

| 保　育　所　名 | 金　額（円） |
|---|---|
| 田　原　保　育　所 | 1,023,662 |
| 八　千　種　保　育　所 | 282,965 |
| 福　崎　保　育　所 | 483,553 |
| 高　岡　保　育　所 | 50,085 |
| 計 | 1,840,265 |

■ひょうご多子世帯保育料軽減事業

対象児童数　　36人

保育料軽減事業補助金　1,620,000円

□効果・達成度

延長保育事業や一時預かり事業を実施することにより保護者のニーズに対応し、子育て支援につなげることができました。

多子世帯における経済的負担の軽減を図ることにより、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進することができました。

| | |
|---|---|
| 成果 | □課題・改善<br>一時預かり事業の利用人数が平成25年度より少なくなっており、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度への移行とともに、制度の周知やわかりやすい説明に努め、利用者が利用しやすい環境づくりを進める必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 64,363,000 | 59,815,142 | 2,625,000 | | 5,705,699 | 51,484,443 |

| 事業名 | 保育園児送迎バス運行事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 送迎を希望する園児の保護者の負担軽減を図るため、マイクロバスの運行を行いました。また、８月には老朽化していたバスの更新を行いました。 |
| 成果 | 主な支出は、園児送迎用マイクロバス購入費、マイクロバス運転手及び添乗員に係る賃金です。<br>■マイクロバス利用者数　（単位：人）<br>田原保育所 6<br>八千種保育所 19<br>福崎保育所 6<br>計 31<br>■園児送迎用マイクロバス<br>・車種　三菱ふそう　ローザ<br>・定員　42 人（うち児童 39 人）<br>・購入費　5,900,000 円<br>□効果・達成度<br>利用児童数は平成 25 年度とほぼ変わりませんが、ニーズのある家庭に対し、児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ることができました。<br>□　課題・改善<br>マイクロバスの使用期間が20年を過ぎて、修繕箇所が増えている状況にあった中で、８月にマイクロバスの更新を行いました。今後も児童の安全な送迎の確保と保護者の負担軽減を図ります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,919,000 | 9,843,638 | | | 876,400 | 8,967,238 |

| 事業名 | 私立保育所運営事業、町外公立保育所委託事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町内私立保育所２園及び町外委託保育所の運営費を支払いました。<br>また、町内私立保育所の特別保育等や施設整備に係る補助金交付を行い保育の充実を図りました。 |

成果

■町内私立保育所運営費　（単位：円）

| | 運　営　費 |
|---|---|
| 姫学保育園 | 72,373,060 |
| サルビア保育園 | 58,359,110 |
| 計 | 130,732,170 |

■町内私立保育所補助金　（単位：円）

| | 姫学保育園 | サルビア保育園 |
|---|---|---|
| 調理員補助 | 3,512,787 | 4,114,954 |
| パン代補助 | 361,667 | 464,199 |
| 特別保育等補助金 | 7,122,000 | 7,449,000 |
| 特別保育料 | 647,300 | 675,100 |
| 計 | 11,643,754 | 12,703,253 |

■サルビア保育園園舎改築補助金　（単位：円）

| | 保育所緊急整備事業 | 認定こども園整備事業 | 合　計 |
|---|---|---|---|
| サルビア保育園 | 116,211,000 | 18,896,000 | 135,107,000 |

■町外私立保育所運営費　（単位：円）

| | 運　営　費 |
|---|---|
| はぎ保育園 | 5,036,040 |
| 姫路保育園 | 1,573,300 |
| すごう保育園 | 510,640 |
| 青葉台保育園 | 64,560 |
| 富田保育所 | 686,660 |
| 屋形保育所 | 1,345,140 |
| 神崎保育園 | 511,020 |
| 北条保育園 | 3,301,680 |
| 保城さくらんぼ保育園 | 1,371,120 |
| 計 | 14,400,160 |

■町外公立保育所運営費　（単位：円）

| | 運　営　費 |
|---|---|
| 甘地保育所 | 1,537,770 |
| 川辺保育所 | 2,442,900 |
| 安富中保育所 | 86,190 |
| 香呂こども園 | 140,300 |
| 計 | 4,207,160 |

□効果・達成度

私立保育所及び町外公立保育所運営費委託料の支払を行い、各保育所の適正な運営の維持と保育の充実に寄与しました。

また、サルビア保育園の園舎改築が平成25年度と26年度の２カ年で実施され、施設整備補助金の交付を行いました。

□課題・改善

今後も私立保育所等への適正な予算執行に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 309,756,000 | 308,793,497 | 167,737,425 | 36,000,000 | 41,594,005 | 63,462,067 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 繰越明許費 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 4.子育て支援施設費 | 23,153,000円 | 21,063,315円 | 1,670,000円 | 419,685円 |

核家族化や少子化の進展、地域のつながりの希薄化等により、家族や地域の中で子育てに関する知恵や経験を共有することが難しく、子育てに関して周囲の助けを求めにくくなっています。

このような状況の中、子育て支援センターと子育て学習センターでは、子育て親子が気軽に集い、交流できる場を提供し、子育てに関する相談や情報提供を行うことにより、子育ての孤立化や負担感の軽減を図り、子どもや子育て家庭が安心して健やかに暮らせるように支援しました。

なお、子育て支援施設備品充実事業1,670,000円を平成27年度へ繰り越しました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 子育て支援センター運営事業（福崎幼児園内） |
|---|---|
| 事業内容 | 福崎町の子育て支援の拠点として、子育て支援情報の収集を行い町広報、ホームページ等による情報提供を実施しました。<br>また“おひさまらんど”は、子育て親子が集える場として開放すると共に、地域支援活動として地域の公民館に出かけて“すきっぷひろば”を開設し、保護者と子どもの交流促進を図りました。 |

成果

■子育て支援センター事業年間のべ利用者数

| おひさまらんど利用者数 | すきっぷひろば参加者数 | その他の事業参加者数 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 2,674人 | 510人 | 733人 | 3,917人 |

■子育て相談件数　84件

■地域支援活動（すきっぷひろば）実施状況

| | 実施月 | 開催公民館等 |
|---|---|---|
| 前期 | 5月 | 田口・福田・新町・西治 |
| | 6月 | 山崎・辻川・中島・西光寺・大門・八千種幼児園・南大貫 |
| | 7月 | 田尻・西野・八反田 |
| 後期 | 10月 | 板坂・福田・新町 |
| | 11月 | 高橋・吉田・山崎・西光寺・辻川・西野・中島・八千種幼児園 |
| | 12月 | 加治谷・田尻・南大貫 |

■その他の事業

| 実施月 | 事業内容 |
|---|---|
| 4月 | 公園で遊ぼう（3回） |
| 5月 | おしゃべり会 |
| 6月 | きらきら子育て講演会 |
| 7月 | ミニコンサート<br>おしゃべり会<br>七夕会 |
| 8月 | 七夕会<br>楽器であそぼう！<br>福幼園まつりに参加 |
| 9月 | おもちゃ作り（2回）<br>小児科の先生とおしゃべり会<br>福崎幼児園運動会に参加 |

| | |
|---|---|
| 10月 | 公園で遊ぼう（２回）<br>おしゃべり会 |
| 12月 | 親子でわらべうた遊び<br>クリスマス会（３回） |

| | |
|---|---|
| １月 | 伝承遊び（老人会と）<br>給食センター見学 |
| ２月 | 福崎幼児園豆まきに参加<br>お楽しみ会<br>おもちゃ作り（２回） |
| ３月 | 子育て講演会 |

成果

□効果・達成度

さまざまな事業を実施することにより、子育て中の親子の交流が広がりました。また来所者数が大幅に増え、居心地の良い空間を提供できました。“すきっぷひろば”でミニデイに同席することで、地域のお年寄りとの世代間交流と共に、子育て世代と地域とのつながりができました。

□課題・改善

今後も、子育て支援施設の拠点としての機能を果たすため、子育て支援情報の提供と地域での支援活動を中心に事業を進めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,788,000 | 2,036,270 | 1,799,928 | | | 236,342 |

| 事業名 | 西部子育て学習センター運営事業（文化センター内） |
|---|---|

事業内容

西部子育て学習センター“ともだちひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

「子育て学習講座」では子育てに関する講演会等を開催しました。また、各子育てグループ自らが企画決定した活動をサポートし、子育てグループの育成支援を行いました。その他、“あそびのひろば”として絵本の読み聞かせやリズム遊びなど、様々な交流の場を提供しました。

成果

■西部子育て学習センター事業年間のべ利用者数

| ともだちひろば利用者数 | 子育てグループ活動参加者数 | 子育て学習講座参加者数 | その他の事業参加者数 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 4,896人 | 2,568人 | 544人 | 1,386人 | 9,394人 |

■子育て相談件数

| 個別相談 | その他 | 合計 |
|---|---|---|
| 15件 | 43件 | 58件 |

■子育てグループ

・５グループ108組244人　の親子が参加
・グループごとに年間15回活動実施
・全体行事として、ふれあい運動会、クリスマス会、おわかれ遠足等を実施
・養護老人ホームでお年寄りとの交流会を実施

■子育て学習講座

| 実施月 | テーマ |
|---|---|
| ５月 | 「イライラ解消！がんばりすぎない子育て術」 |
| ７月 | 「スマートフォンやネットとのかしこいつきあい方」 |
| ８月 | 人形劇 |
| 10月 | 防災減災について |
| 11月 | 心に届く言葉・絵本 |
| ２月 | 絵本の読み聞かせに生演奏 |

成果

■あそびのひろば

| 事　業　名 | 内　　容 | 実　施　日 |
|---|---|---|
| ドレミ | リズムあそび・うたあそびなど | 第２木曜日　年10回 |
| ぐりとぐら | 絵本の読み聞かせ、わらべうたなど | 第１木曜日　年９回 |
| おしゃべりティータイム | テーブルを囲んで子育てについておしゃべり | ４・８・10・１月 |

□効果・達成度

１年間を通して100組以上の子育て親子が参加され、子育てグループの活動が活発に行われることにより、子育て親子の出会いの場、悩みを共有する場として子育てを応援できました。

□課題・改善

今後も子育て親子の身近な施設として事業を実施し、「学びの場」・「安らぎの場」・「子育て中の母の心のよりどころ」となるよう努めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 3,144,000 | 2,483,390 | 1,299,668 | | | 1,183,722 |

| 事業名 | 東部子育て学習センター運営事業（田原幼児園内） |
|---|---|

事業内容

東部子育て学習センター“にこにこひろば”を子育て親子の集いの場として提供しました。

「にこにこ講座」の開催や、地域のお年寄りやお父さんと参加する事業など、日頃ふれあいが少ない方々との交流事業を中心に実施しました。

成果

■東部子育て学習センター事業年間のべ利用者数

| にこにこひろば利用者数 | にこにこ講座参加者数 | その他の事業参加者数 | 合　計 |
|---|---|---|---|
| 4,485人 | 295人 | 423人 | 5,203人 |

■子育て相談件数　　58件

■にこにこ講座

| 実施月 | テ　ー　マ |
|---|---|
| ５月 | 食育について |
| ７月 | わらべうたで遊ぼう |
| 10月 | 幼児園ってどんなところ？田原幼児園見学 |
| 12月 | エプロンシアター |
| １月 | 子育て講演会 |
| ２月 | 音楽と遊ぼう　親子でリズム遊び |

■その他の事業

| 実施月 | テ　ー　マ |
|---|---|
| ４月 | 親子で楽しむミュージカル |
| ６月 | おとうさんと遊ぼう！ |
| ８月 | おとうさんと作ろう（川遊び） |
| ９月 | おじいちゃんおばあちゃんとあそぼう！ |
| 10月 | いもほり |
| 11月 | 身体をいっぱい使って遊ぼう！ |
| 12月 | クリスマス会 |
| ２月 | まめまき |
| ３月 | みんなでおさんぽ！ |

成果

□効果・達成度

開設３年が過ぎ、各月の実施事業に多くの子育て親子の参加がありました。利用者数が増加し､子育て親子の出会い・ふれあいの場として定着したように思います。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 子育て支援施設利用者数 | 16,500人 | 18,514人 |

□課題・改善

今後も地域住民や家族とのふれあいを大切にし、子育て親子や家族が気軽に集える場となれるよう努力します。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,228,000 | 1,624,807 | 689,618 | | | 935,189 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 繰越明許費 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 5.学童保育費 | 13,942,000円 | 11,366,314円 | 2,000,000円 | 575,686円 |

共働き家庭や母子・父子家庭など、学校から帰宅してもだれもいない留守家庭の子どもの保護・健全育成を図ることを目的に、学校や地域の協力のもと、福崎小学校の余裕教室を利用した「福崎西部学童保育園」と田原小学校体育館北の「福崎東部学童保育園」において学童保育を行いました。年齢の異なった子どもたちが家庭的な雰囲気の中で、宿題をした後、自主活動を通じて仲良く協力しながら放課後を過ごしました。

土曜日は「福崎東部学童保育園」において、センター方式により学童保育を実施しました。

放課後子ども教室では、地域の大人や異年齢の子どもとの交流、また昔あそびを行うなど、子どもの居場所づくりに努めました。

なお、子育て支援施設備品充実事業2,000,000円を平成27年度へ繰り越しました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 福崎西部学童保育園運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 福崎小学校及び高岡小学校の主に小学校１年生から３年生までの留守家庭の児童が、福崎小学校北校舎の余裕教室で宿題及び自主活動などを主として行い、放課後を過ごしました。<br>土曜日の利用を希望する児童については、センター方式により福崎東部学童保育園で保育を実施しました。 |
| 成果 | 福崎西部学童保育園の運営（月曜日から金曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。<br>■　学童保育園利用状況（実利用人数）　※（　）内は内数（単位：人） |

| | 福崎小学校 | 高岡小学校 | 計 |
|---|---|---|---|
| ４月 | 50 | 1 | 51 |
| ５月 | 43 | 1 | 44 |
| ６月 | 46 | 1 | 47 |
| ７月<br>(夏休み) | 63<br>(6) | 1<br>(0) | 64<br>(6) |
| ８月<br>(夏休み) | 54<br>(6) | 1<br>(0) | 55<br>(6) |
| ９月 | 45 | 1 | 46 |
| 10月 | 46 | 1 | 47 |
| 11月 | 41 | 1 | 42 |
| 12月 | 48 | 1 | 49 |
| １月 | 43 | 1 | 44 |
| ２月 | 39 | 1 | 40 |
| ３月 | 46 | 1 | 47 |
| 計<br>(長期休業) | 564<br>(12) | 12<br>(0) | 576<br>(12) |

□効果・達成度

小学校低学年の留守家庭の児童の健全育成や安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開設時間の拡大を求める声があり、今後、検討が必要です。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 6,054,000 | 5,216,774 | 1,966,000 | | 2,250,000 | 1,000,774 |

| 事業名 | 田原放課後子ども教室事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 田原小学校の１年生及び２年生を対象に、田原小学校の教室において５月～３月の毎週月曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。 |

成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）　（単位：人）

| | １年生 | ２年生 | 計 |
|---|---|---|---|
| ４月 | － | － | － |
| ５月 | 30 | 18 | 48 |
| ６月 | 29 | 18 | 47 |
| ７月 | 27 | 18 | 45 |
| ８月 | － | － | － |
| ９月 | 25 | 16 | 41 |
| 10月 | 30 | 18 | 48 |
| 11月 | 28 | 15 | 43 |
| 12月 | 28 | 16 | 44 |
| １月 | 29 | 15 | 44 |
| ２月 | 29 | 16 | 45 |
| ３月 | 29 | 13 | 42 |
| 計 | 284 | 163 | 447 |

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約１時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していくことが必要です。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 727,000 | 102,704 | 39,862 | | | 62,842 |

| 事業名 | 八千種放課後子ども教室事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 八千種小学校の１年生を対象に、八千種県民交流広場において５月～３月の毎週火曜日（学校が休みの日などを除く）に開催し、宿題や絵本の読み聞かせなどの活動をしながら、他の学年の児童の下校時間と合わせることによって、帰宅時の安全を確保することで地域における子育て支援に努めました。 |

成果

主な支出は、指導員の賃金です。

■利用状況（実利用人数）　　（単位：人）

| | １年生 |
|---|---|
| ４月 | － |
| ５月 | 11 |
| ６月 | 11 |
| ７月 | 11 |
| ８月 | － |
| ９月 | 11 |
| 10月 | 12 |
| 11月 | 12 |
| 12月 | 12 |
| １月 | 12 |
| ２月 | 12 |
| ３月 | 12 |
| 計 | 116 |

□効果・達成度

他の学年の児童の下校時間に合わせて帰宅することで低学年の児童の帰宅途中の安全確保に努めることができたほか、指導員として地域の方の協力を得ることで地域における子育て支援につながりました。また、子どもたちにとっては地域の大人とのふれあいの場をもつことができました。

□課題・改善

約１時間という限られた時間の中で、宿題を済ませた児童の残り時間の過ごし方について、昔遊びを増やしたり、指導員以外の地域の方との交流を増やしていくなど、さらに工夫していくことが必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 687,000 | 103,573 | 79,138 | | | 24,435 |

| 事業名 | 福崎東部学童保育園運営事業 |
|---|---|

事業内容

田原小学校及び八千種小学校の主に小学校１年生から３年生までの留守家庭の児童が、田原小学校北の福崎東部学童保育園において宿題及び自主活動などを行い、放課後を過ごしました。

また、土曜日はセンター方式により町内４小学校の児童を対象に学童保育を実施しました。

成果

福崎東部学童保育園の運営（月曜日から土曜日）に要した費用です。主な支出は、学童保育の指導員に係る賃金です。

■学童保育園利用状況（実利用人数）　　※（　）内は内数（単位：人）

| | 田原小学校 | 八千種小学校 | 計 |
|---|---|---|---|
| ４月 | 72 | 2 | 74 |
| ５月 | 59 | 2 | 61 |
| ６月 | 57 | 2 | 59 |
| ７月<br>（夏休み） | 77<br>(11) | 2<br>(0) | 79<br>(11) |
| ８月<br>（夏休み） | 81<br>(19) | 3<br>(1) | 84<br>(20) |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ９月 | 57 | 1 | 58 |
| 10月 | 58 | 1 | 59 |
| 11月 | 52 | 1 | 53 |
| 12月 | 51 | 1 | 52 |
| １月 | 49 | 1 | 50 |
| ２月 | 50 | 1 | 51 |
| ３月 | 52 | 1 | 53 |
| 計<br>（長期休業） | 715<br>(30) | 18<br>(1) | 733<br>(31) |

□効果・達成度

小学校低学年の留守家庭の児童の健全育成や安全の確保に努めることができました。

□課題・改善

開設時間拡大を求める声があり、今後、検討が必要です。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 6,474,000 | 5,943,263 | 1,865,000 | | 3,117,000 | 961,263 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.児童福祉費 | 6.幼児園建設費 | 220,223,000円 | 219,551,396円 | 671,604円 |

幼保一体化施設整備として、高岡幼児園の建設及び旧八千種保育所の跡地整備を行いました。

事業内容は次のとおりです。

| 事業名 | 高岡幼児園建設事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 高岡幼児園の建設を行い、幼保一体化施設として整備しました。<br>主な支出は、建築工事費、工事監理委託料、備品購入費です。 |
| 成果 | ■構　造　鉄筋コンクリート造平屋建て<br>延床面積　766.16㎡（新築）<br>■工事監理　(株)ケイ設計<br>■施　工　(株)宮本組福崎支店<br>■主な事業費<br>○工事請負費　200,619,520円<br>・新築工事　197,371,120円<br>・外構工事　3,000,000円　(株)セイトー<br>・その他工事　248,400円　セコム(株)<br>○工事監理委託料　2,808,000円<br>○備品購入費　4,494,921円<br>○負担金　777,600円<br>・上水道加入分担金　552,960円<br>・給水工事負担金　224,640円<br>□効果・達成度<br>公立の４園すべてにおいて幼保一体化施設としての整備が完了し、平成 27 年４月からの子ども・子育て支援新制度の実施に合わせた認定こども園への移行準備が整いました。<br>□めざそう値 |

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 認定こども園数 | ６園 | ０園※ |

※平成 27 年４月１日現在実績６園

□課題・改善

児童が安心して園生活が送れるよう施設管理を行います。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 209,513,000 | 208,841,586 | 10,000,000 | 158,400,000 | | 40,441,586 |

| 事業名 | 八千種保育所跡地整備事業【新規】 |
|---|---|
| 事業内容 | 旧八千種保育所を解体し、跡地を小学校及び幼児園の関係者をはじめ、八千種地区の人々が集いやすいよう駐車場として整備しました。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■主な事業費<br>○駐車場整備事業　　(株)セイトー<br>・工事請負費　　10,585,850 円<br>○負担金<br>・給水工事負担金　　120,960 円<br>□効果・達成度<br>駐車場が整備されたことに加え、場内に通学路を確保し、学童・園児の安全性を向上することができました。<br>□課題・改善<br>整備した駐車場を行事開催時等、有効に活用していきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　(単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,710,000 | 10,709,810 | | | | 10,709,810 |

## ９．教　育　費

教育費は、教育総務費、小学校費、中学校費、幼稚園費、社会教育費、保健体育費に要した経費です。

本町では、教育の基本方針及び長期目標である「大地に根を張り、幹を太らせ、大きく伸び行く福崎の教育」を基調に、町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして、夢に挑戦する子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育に取り組んできました。子どもたち一人ひとりの持つよさや可能性を伸ばし、自らの個性がより発揮できるように、倫理観、社会性、創造性、国際性を養う教育を推進しました。また、社会生活上のルールの大切さや自己責任の自覚、他者を思いやる心の涵養（かんよう）等、「心の教育」の充実に努めました。「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」のキャッチコピーや「明るいあいさつ、元気な福崎」「あいさつ、ルール、支え合い」「早寝、早起き、朝ごはん」等のスローガンの活用で生活習慣の向上に努めました。

施設面では、学校施設の耐震化のため、田原小学校体育館の実施設計や既設小中学校体育館吊り天井などの非構造部材耐震化実施設計を完了しました。また、屋根付き多目的グランドとして第３グランド（さるびあドーム）を整備しました。

⑴　教育総務費

１次評価：　Ａ

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 1.教育総務費 | 1.教育委員会費 | 1,377,000円 | 1,225,073円 | 151,927円 |

地方教育行政全般の運営推進に要した経費です。教育委員会の会議は、定例会12回、臨時会１回を開催し、教育上の諸問題について審議しました。また、養父市立全天候型運動場（いきいきドーム）等の視察研修を行い、社会体育施設の設置・管理・運用等について情報収集しました。主な支出は、委員４人にかかる報酬、教育長交際費、委員研修委託料です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 教育委員会事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 教育委員会において、幅広い分野の多様な地域住民の要望に的確に対応し、きめ細やかな教育行政が主体的かつ積極的に展望できるよう、体制の確立に努めました。 |
| 成果 | 毎月教育委員会を開催し、教育情勢をより早く察知し検討しました。<br>研修に積極的に参加し、情報収集に努め、教育委員としてより高度な人格形成を目指しました。<br>□効果・達成度<br>適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。<br>□課題・改善<br>さらなる自己研さん及び的確な情報収集に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,377,000 | 1,225,073 | | | | 1,225,073 |

１次評価：　Ａ

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 1.教育総務費 | 2.事務局費 | 65,054,000円 | 64,381,645円 | 672,355円 |

教育長、職員３人・嘱託２人に係る人件費、英語指導助手の賃金、旅費及びこころを開きあう親の会講師謝礼金、日本スポーツ振興センター負担金及び選手派遣費等が主な支出です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 事務局一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | 教育行政の円滑な運営を図りました。 |
| 成果 | 不登校指導員等の配置により、児童生徒の問題解決に早期対応しました。<br>就学指導委員会を開催し、特別支援学級の入級判定及び支援を要する児童生徒の実態把握に努めました。<br>□効果・達成度<br>不登校児童生徒に対するきめ細かな対応ができました。特別支援学級への適正な入級判定ができました。<br>□課題・改善<br>教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 8,433,000 | 8,119,876 | | | | 8,119,876 |

| 事業名 | 教員検診事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校保健安全法に基づき、園児・児童・生徒及び教職員の健康管理に万全を期しました。 |
| 成果 | 健康は教育の基本であるという理念のもと、園児・児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、円滑な教育活動を展開するため、各種検診を実施しました。<br>■教職員検診費 |

（単位：円）

| 学校名／検診名 | 福崎小 | | 高岡小 | | 田原小 | | 八千種小 | | 西中 | | 東中 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 円 |
| 胃部ﾚﾝﾄﾄﾞｹﾞﾝ | 8 | 29,424 | 5 | 18,390 | 6 | 22,068 | 5 | 18,390 | 8 | 29,424 | 2 | 7,356 | 125,052 |
| 心電図 | 17 | 22,032 | 11 | 14,256 | 15 | 19,440 | 11 | 14,256 | 14 | 18,144 | 9 | 11,664 | 99,792 |
| 血液 | 17 | 41,259 | 11 | 26,697 | 15 | 36,405 | 11 | 26,697 | 14 | 33,978 | 9 | 21,843 | 186,879 |
| ＨｂＡ１ｃ | 17 | 7,344 | 11 | 4,752 | 15 | 6,480 | 11 | 4,752 | 14 | 6,048 | 9 | 3,888 | 33,264 |
| 胸部撮影 | 17 | 9,180 | 11 | 5,940 | 14 | 7,560 | 10 | 5,400 | 13 | 7,020 | 9 | 4,860 | 39,960 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 眼　　底 | 20 | 23,760 | 11 | 13,068 | 15 | 17,820 | 12 | 14,256 | 14 | 16,632 | 9 | 10,692 | 96,228 |
| 尿 検 査 | 17 | 1,836 | 11 | 1,188 | 15 | 1,620 | 10 | 1,080 | 14 | 1,512 | 9 | 972 | 8,208 |
| 別途実施尿検査 | 0 | 0 | 1 | 130 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 388 | 0 | 0 | 518 |
| 診　　察 | 17 | 11,016 | 11 | 7,128 | 15 | 9,720 | 11 | 7,128 | 14 | 9,072 | 9 | 5,832 | 49,896 |
| 聴　　力 | 17 | 1,836 | 11 | 1,188 | 15 | 1,620 | 11 | 1,188 | 14 | 1,512 | 9 | 972 | 8,316 |
| 大腸がん | 13 | 13,338 | 10 | 10,260 | 15 | 15,390 | 7 | 7,182 | 9 | 9,234 | 7 | 7,182 | 62,586 |
| Ｐ Ｓ Ａ | 1 | 1,728 | 1 | 1,728 | 2 | 3,456 | 2 | 3,456 | 4 | 6,912 | 2 | 3,456 | 20,736 |
| 腹　　囲 | 9 | 2,430 | 7 | 1,890 | 4 | 1,080 | 6 | 1,620 | 8 | 2,160 | 4 | 1,080 | 10,260 |
| 協会健保一般健診 | 3 | 11,357 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3,495 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,852 |
| 追加血液検査 | 3 | 2,268 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 756 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,024 |
| 市川町受診分 | 0 | 0 | 1 | 9,774 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 29,322 | 1 | 9,774 | 48,870 |
| 計 | 178,808 | | 116,389 | | 142,659 | | 109,656 | | 171,358 | | 89,571 | | 808,441 |

成果

■児童、生徒、園児検診費

| | 福　崎　小 | | 高　岡　小 | | 田　原　小 | | 八千種小 | | 西　　中 | | 東　　中 | | 小　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 円 |
| 心臓検査 | 78 | 131,820 | 12 | 20,280 | 80 | 135,200 | 14 | 23,660 | 79 | 133,510 | 118 | 199,420 | 643,890 |
| 尿 検 査 | 396 | 38,491 | 74 | 7,193 | 482 | 46,850 | 167 | 16,232 | 236 | 22,939 | 348 | 33,825 | 165,530 |
| 寄生虫検査 | 186 | 12,053 | 35 | 2,268 | 242 | 15,682 | 76 | 4,925 | | | | | 34,928 |
| 胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ | 0 | 0 | 2 | 3,140 | 1 | 1,480 | 0 | 0 | | | | | 4,620 |
| 計 | 182,364 | | 32,881 | | 199,212 | | 44,817 | | 156,449 | | 233,245 | | 848,968 |

| 学校名<br>検診名 | 福　崎　幼 | | 高　岡　幼 | | 田　原　幼 | | 八千種幼 | | 小計 | 合　　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 円 | 円 |
| 心臓検査 | | | | | | | | | | 643,890 |
| 尿 検 査 | 20 | 1,944 | 8 | 778 | 11 | 1,069 | 8 | 778 | 4,569 | 170,099 |
| 寄生虫検査 | 20 | 1,296 | 8 | 518 | 11 | 713 | 8 | 518 | 3,045 | 37,973 |
| 胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,620 |
| 税 込 計 | 3,240 | | 1,296 | | 1,782 | | 1,296 | | 7,614 | 856,582 |

□効果・達成度

各検診を受診する機会を確保し、園児・児童・生徒及び教職員の積極的な健康保持・増進を図ることができました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,903,000 | 1,877,128 | | | | 1,877,128 |

| 事業名 | 学校関係事業 |
|---|---|

**事業内容**

日本スポーツ振興センター負担金、選手派遣費及び生活困窮者等の就学奨励扶助に係る事業です。

**成果**

■選手派遣費

（単位：円）

| 学校名 | 大会名 | 派遣費用 | 各学校費用合計 |
|---|---|---|---|
| 福崎小 | 第62回兵庫リレーカーニバル | 4,120 | |
| | 第30回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選 | 6,130 | |
| | 第38回兵庫県小学生陸上競技大会 | 5,630 | 15,880 |
| 高岡小 | 第62回兵庫リレーカーニバル | 4,120 | 4,120 |
| 田原小 | 第62回兵庫リレーカーニバル | 24,200 | |
| | 第31回兵庫小学生リレー競技大会 | 4,130 | |
| | 第30回全国小学生陸上競技交流大会兵庫県予選 | 11,130 | |
| | 第38回兵庫県小学生陸上競技大会 | 15,170 | 54,630 |
| 八千種小 | 第62回兵庫リレーカーニバル | 4,080 | 4,080 |
| 福崎西中 | 第62回兵庫リレーカーニバル | 45,000 | |
| | 神崎郡中学校総合体育大会他 | 140,220 | |
| | 全日本中学校陸上競技選手権大会他 | 103,980 | |
| | 神崎郡中学親善大会 | 20,400 | |
| | 神崎郡中学校連合音楽会他 | 163,900 | |
| | 中播地区新人大会 | 28,800 | |
| | 兵庫県中学校バスケットボール新人大会 | 18,026 | 520,326 |
| 福崎東中 | 神崎郡総合体育大会 | 237,600 | |
| | 中播磨地区中学生総合体育大会他 | 293,894 | |
| | 青少年のための科学の祭典 | 30,000 | |
| | ＪＣＡ兵庫県合唱コンクール他 | 78,720 | |
| | 神崎郡親善大会 | 97,200 | |
| | 中播地区新人大会他 | 158,377 | |
| | 神崎郡中学校連合音楽会 | 32,400 | |
| | 中播地区中学校総合体育大会駅伝競走の部 | 69,920 | |
| | 中播地区中学校ソフトテニス新人大会 | 19,200 | |
| | 全日本学校通信陸上競技兵庫県大会他 | 82,160 | |
| | 兵庫県中学校バスケットボール新人大会他 | 56,272 | 1,155,743 |
| 計 | | | 1,754,779 |

□効果・達成度

児童及び生徒の活発な体育活動等を支援することができました。顕著な活躍として、福崎西中３年（当時）吉田弘道くんが香川県で開催された第41回全日本中学校陸上競技選手権大会男子走り幅跳びに出場しました。

□課題・改善

体育活動のみならず、文化活動についても積極的な活動を支援していきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,667,000 | 2,605,829 | | | | 2,605,829 |

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="5">国際教育推進事業</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="6">平成25年度に引き続き、ＡＬＴ２人体制のもと、国際理解教育を展開しました。英語指導助手の賃金、旅費等に係る事業です。</td></tr>
<tr><td>成果</td><td colspan="6">平成25年度同様、ＡＬＴを２人配置し、小中学校の英語教育・国際教育をより充実させ、地域の国際化にも有効に活用しました。<br>□効果・達成度<br>生きた英語にふれることで児童及び生徒の英語に対する興味・関心が高まり、充実した国際教育が展開できました。<br>□課題・改善<br>ＡＬＴの指導能力をさらに高め、より一層の国際教育の充実に努めていきます。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">予算額</td><td rowspan="2">決算額</td><td colspan="4">財源内訳　（単位:円）</td></tr>
<tr><td>国県支出金</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr>
<tr><td colspan="2">9,522,000</td><td>9,431,817</td><td></td><td></td><td></td><td>9,431,817</td></tr>
</table>

⑵　小学校費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.小　学　校　費 | 1.学校管理費 | 100,820,000円 | 99,383,325円 | 1,436,675円 |

小学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託４人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、土地借上料、備品購入費、負担金等です。また、学校トイレの一部洋式化工事の施工、体育館非構造部材の耐震化・田原小学校体育館の実施設計等を行い、学校施設の環境改善に取り組みました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 小学校管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校教育法に定める目的及び目標達成のための教育を推進しました。 |

成果

目的を達成するため、合理的な運営を行いました。
教育施設の維持管理、教材備品の整備充実及び教育活動の充実向上を図りました。

■学校別児童・教員数調べ

H26．５．１現在（単位:人）

| 学年／学校 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 計 | 教員 | 事務職・栄養教諭等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福　崎　小 | 78 | 54 | 54 | 79 | 70 | 61 | 396 | 24 | 3 |
| 高　岡　小 | 12 | 13 | 10 | 11 | 15 | 13 | 74 | 12 | 3 |
| 田　原　小 | 80 | 80 | 82 | 87 | 77 | 76 | 482 | 26 | 3 |
| 八千種小 | 14 | 29 | 33 | 27 | 37 | 27 | 167 | 16 | 2 |
| 計 | 184 | 176 | 179 | 204 | 199 | 177 | 1,119 | 78 | 11 |
| ２５年度 | 172 | 180 | 205 | 199 | 176 | 208 | 1,140 | 74 | 10 |

■校医等の報酬

| | | |
|---|---|---|
| 内科医（４人） | 2,122,430円 | 定期健康診断、就学前健康診断、マラソン前健康診断他 |
| 歯科医（４人） | 1,303,010円 | |
| 眼科医（１人） | 710,950円 | |
| 耳鼻科医（２人） | 722,200円 | |
| 薬剤師（３人） | 340,900円 | 教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査 |

■施設修繕料

（単位：円）

| 福　崎　小 | 高　岡　小 | 田　原　小 | 八千種小 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 461,556 | 229,522 | 496,131 | 255,398 | 1,442,607 |

■委託料関係

（単位：円）

| 区分／校名 | 福　崎　小 | 高　岡　小 | 田　原　小 | 八千種小 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| スクールカウンセラー活動委託料 | 150,000 | 0 | 0 | 0 | 150,000 |
| 植木剪定委託料 | 118,896 | 85,680 | 16,478 | 0 | 221,054 |
| リソグラフ保守管理委託料 | 0 | 0 | 44,580 | 0 | 44,580 |
| 清掃委託料 | 0 | 0 | 120,000 | 120,000 | 240,000 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 警　備　委　託　料 | 307,454 | 307,454 | 307,454 | 307,454 | 1,229,816 |
| 電気設備管理委託料 | 126,000 | 96,000 | 126,000 | 168,000 | 516,000 |
| 貯水槽管理委託料 | 50,760 | 70,200 | 91,800 | 72,360 | 285,120 |
| 給食用昇降機点検委託料 | 52,250 | 35,640 | 35,640 | 35,640 | 159,170 |
| 消防設備点検委託料 | 24,570 | 24,570 | 24,570 | 24,570 | 98,280 |
| プール循環装置点検委託料 | 21,978 | 21,978 | 21,978 | 21,978 | 87,912 |
| エレベーター点検委託料 | 570,240 | 0 | 0 | 0 | 570,240 |
| 教育用コンピュータ保守管理委託料 | 401,544 | 401,544 | 401,544 | 401,544 | 1,606,176 |
| 英語活動推進事業委託料 | 175,680 | 81,130 | 272,060 | 81,130 | 610,000 |
| 小学校体験活動事業委託料 | 1,173,000 | 587,000 | 1,173,000 | 587,000 | 3,520,000 |
| 計 | 3,172,372 | 1,711,196 | 2,635,104 | 1,819,676 | 9,338,348 |

■自然学校推進事業

自然学校は、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、様々な体験活動をとおして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に関する畏敬の念、感動する心、ともに生きる心を育む等、「生きる力」を育成することを目的として実施している県の補助事業（県補助金）です。平成26年度も兵庫県立南但馬自然学校で実施しました。町内全小学校５年生199人が２班に分かれ、４泊５日（6/16～6/20）の日程で行い、自然観察、登山、昼食作り、コース別体験等、充実した自然学校を体験しました。主な支出は、バス借上料、施設使用料等です。

成

■賃借料

福崎小学校敷地借上料（638.28 坪）　1,320,610 円

小学校コンピュータ等借上料　933,060 円

果　バス借上料　243,000 円

■工事請負費

八千種小学校南駐車場整備工事　4,972,190 円

■備品購入関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により図書購入・理科教材備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

（単位：円）

| 区分＼校名 | 福崎小 | 高岡小 | 田原小 | 八千種小 | 事務局 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一　般　備　品 | 501,336 | 145,854 | 531,204 | 295,262 | 500,731 | 1,974,387 |
| 教　材　備　品 | 852,448 | 562,050 | 1,049,057 | 689,473 | 1,083,163 | 4,236,191 |
| 図書購入費 | 16,790 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16,790 |
| 計 | 1,370,574 | 707,904 | 1,580,261 | 984,735 | 1,583,894 | 6,227,368 |

■負担金関係

学童農園学習実施状況

体験学習（いも植え・いも掘り）　１人 150 円

〃　（田植え）１人 225 円（稲刈り）　１人 250 円

〃　（もち麦種まき・もち麦刈取り）　１人 250 円

成果

| 学校名 | いも植え（人） | いも掘り（人） | 田植え（人） | 稲刈り（人） | もち麦種まき（人） | もち麦刈取り（人） | 入園料（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福崎小 | 108 | 108 | 70 | 70 | | | 65,650 |
| 高岡小 | 46 | 46 | 14 | 15 | | | 20,700 |
| 田原小 | 80 | 80 | 77 | 77 | 80 | 82 | 101,075 |
| 八千種小 | 103 | 103 | 64 | 64 | | | 61,300 |
| 計 | 337 | 337 | 225 | 226 | 80 | 82 | 248,725 |

□効果・達成度

各学校において、それぞれ必要な備品等を購入し、教育環境をさらに充実させることができました。平成26年度も外国語活動事業を委託しました。自然学校では、５年生が自然の中での長期宿泊体験を通して、豊かな感性や社会性を育む活動を行いました。

□課題・改善

理科備品の充足率が低く、これからも継続して備品購入・整備に努める必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 70,113,000 | 69,856,181 | 2,024,000 | | 500,000 | 67,332,181 |

| 事業名 | 小学校施設補修事業 |
|---|---|

事業内容

学校施設の補修等に要した経費です。

成果

老朽化等による不良箇所の修繕及び特別支援教室の整備等を行いました。

■修繕関係

（単位：円）

| 学校名 | 内容 | 金額 | 各小学校合計 |
|---|---|---|---|
| 福崎小 | 教室床塗装工事（３教室） | 494,640 | |
| | 配膳室屋根修理工事 | 463,768 | |
| | 北館１・２階階段踊り場等シート張替工事 | 122,000 | |
| | プールシャワー排水溝改修工事 | 174,000 | |
| | 南館１階中央玄関天井修繕工事 | 299,160 | |
| | 職員室警報盤ブザー修理工事 | 5,400 | |
| | 体育館ランプ取替工事 | 88,830 | |
| | 体育館天井部分修理工事 | 86,400 | |
| | 玄関天井ボード修理工事 | 48,600 | |
| | 消防設備修理工事 | 59,832 | 1,842,630 |
| 高岡小 | プール管理棟建屋修繕工事 | 737,089 | |
| | 体育館玄関ひさし接続部雨漏り修繕工事 | 16,200 | |
| | 体育館舞台スクリーン工事 | 122,040 | |
| | 体育館ランプ取替工事 | 85,590 | 960,919 |

成果

| | | | |
|---|---|---|---|
| 田原小 | 教室床再塗装工事（３教室） | 498,960 | 2,274,167 |
| | 図書室等雨漏り修繕工事 | 1,490,400 | |
| | プールろ過装置取替工事 | 138,467 | |
| | 東側児童玄関天井修理工事 | 81,000 | |
| | プールろ過装置・ろ過タンク点検工事 | 65,340 | |
| 八千種小 | 屋上側溝防水保護塗料塗替工事 | 421,200 | 1,102,120 |
| | 屋外手洗い場漏水修理工事 | 31,320 | |
| | 百葉箱屋根部取替工事 | 88,000 | |
| | 体育館南出入り口等フロアヒンジ取替工事 | 97,200 | |
| | ２階会議室絵画取付工事 | 43,200 | |
| | 屋根笠木修理工事 | 421,200 | |
| 合　　計 | | | 6,179,836 |

■工事請負費

| 校　　名 | 内　　容 | 金　　額（円） |
|---|---|---|
| 福　崎　小 | 特別支援教室整備工事 | 4,132,897 |
| | トイレ改修工事（10箇所） | 9,907,920 |
| 田　原　小 | トイレ改修工事（17箇所） | |
| 八 千 種 小 | トイレ改修工事（ 4箇所） | |
| 合　　計 | | 14,040,817 |

□効果・達成度

福崎小学校においては、特別支援教室の整備を行い、新年度に備えることができました。また、福崎小学校、田原小学校及び八千種小学校のトイレの一部洋式化を進めることができました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 大規模改修実施学校数 | 3校※ | 0校 |

（※目標学校数は小学校・中学校あわせたもの）

成果

□課題・改善

学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所については修繕できましたが、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。補修の真に必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 21,409,000 | 20,728,253 | | | | 20,728,253 |

| 事業名 | 学校施設耐震化事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 避難所ともなっている福崎小学校、高岡小学校及び八千種小学校体育館の非構造部材耐震化のための実施設計に要した経費です。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■委託料<br>実施設計委託料　　2,034,245 円（請負業者：㈱鷲尾建築設計事務所）<br>□効果・達成度<br>平成27年度の施工にむけて実施設計を完了することができました。平成27年度は、体育館の吊り天井の撤去や照明器具の落下防止、窓ガラスへの飛散防止フィルム貼付等の工事を行います。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,400,000 | 2,034,245 | | | | 2,034,245 |

１次評価：　A

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.小学校費 | 2.教育振興費 | 7,356,000 円 | 7,227,901 円 | 128,099 円 |

心身に障がいを有する児童の教育及び要保護・準要保護児童の扶助に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 小学校教育振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。<br>教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。 |
| 成果 | 備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。<br>福崎小　３学級（知的、自閉症・情緒、難聴）<br>高岡小　１学級（知的）<br>田原小　４学級（知的、自閉症・情緒、難聴、肢体）<br>八千種小　３学級（知的、自閉症・情緒、難聴） |

■学校別児童数調（特別支援学級）

H26.５.１現在（単位：人）

| 校名＼学年 | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福崎小学校 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 高岡小学校 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 田原小学校 | 2 | 1 | 5 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| 八千種小学校 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 1 | 7 |
| 計 | 3 | 4 | 8 | 3 | 4 | 2 | 24 |

■備品購入費

（単位：円）

| 校名＼学年 | 福崎小 | 高岡小 | 田原小 | 八千種小 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般備品 | 36,590 | 121,068 | 428,402 | 313,484 | 899,544 |
| 教材備品 | 166,366 | 62,586 | 100,634 | 148,305 | 477,891 |
| 計 | 202,956 | 183,654 | 529,036 | 461,789 | 1,377,435 |

経済的理由で就学困難な児童に対して、就学援助を行いました。

■就学援助費支給状況

| 扶助内容 | 人数(人) | 金額(円) |
|---|---|---|
| 学用品 | 81 | 977,280 |
| 修学旅行 | 15 | 292,608 |
| 医療費 | 3 | 37,700 |
| 新入学学用品 | 6 | 91,900 |
| 給食費 | 81 | 3,087,130 |
| ＰＴＡ会費 | 26 | 60,000 |
| 計 | 212 | 4,546,618 |

| | |
|---|---|
| | □効果・達成度<br>就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。<br>□課題・改善<br>さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,356,000 | 7,227,901 | 228,000 | | | 6,999,901 |

| 1次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 2.小学校費 | 3.体育館建設費 | 50,670,000 円 | 44,502,928 円 | 6,167,072 円 |

危険改築のため建替えを行う田原小学校体育館の建設に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 田原小学校体育館建設事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 田原小学校体育館建設のための実施設計を行い、既存の体育館を解体しました。 |
| 成果 | ■委託料<br>工事監理委託料　150,000円　（請負業者：㈱村上建築設計室）<br>設計委託料　7,430,400円　（請負業者：㈱加藤建築事務所）<br>土地測量業務委託料　291,600円　（請負業者：㈱村上建築設計室）<br>■主な工事費<br>解体工事費　36,600,000円　（請負業者：立建設㈱）<br>□効果・達成度<br>平成27年度の施工にむけて実施設計等を完了することができました。また、学校施設環境改善交付金を充当し、Ⅰ期工事として、現体育館の解体を行うことができました。<br>□課題・改善<br>平成27年度の建設工事に向けて、予定どおり工事をすすめることができました。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 50,670,000 | 44,502,928 | 8,617,000 | 29,100,000 | | 6,785,928 |

⑶　中学校費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 3.中学校費 | 1.学校管理費 | 53,551,000円 | 49,661,847円 | 3,889,153円 |

中学校における義務教育活動の充実と向上を図るために要した経費です。

主な支出は、嘱託２人に係る人件費、校医等の報酬、一般・教材事務費、施設管理委託料、備品購入費、負担金等です。また、体育館非構造部材の耐震化の実施設計等を行い、学校施設の環境改善に取り組みました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 中学校管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校教育法に定める目標及び目的達成のための教育を推進しました。 |

成果

目的を達成するために合理的な運営を行いました。

無限の可能性を有する生徒たちが、自ら人間性を養うための教育整備と教育活動の充実を図りました。

■学校別生徒・教職員数調

H26.５.１現在（単位：人）

| 校名＼学年 | １年 | ２年 | ３年 | 計 | 教員 | 事務職・用務員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 福崎西中学校 | 79 | 84 | 74 | 237 | 24 | 2 |
| 福崎東中学校 | 118 | 112 | 121 | 351 | 24 | 2 |
| 計 | 197 | 196 | 195 | 588 | 48 | 4 |
| 平成２５年度 | 194 | 194 | 189 | 577 | 48 | 4 |

■校医等の報酬

| | | |
|---|---|---|
| 内科医（２人） | 1,044,090円 | 定期健康診断、マラソン前健康診断他 |
| 歯科医（２人） | 668,320円 | |
| 眼科医（１人） | 363,400円 | |
| 耳鼻科医（２人） | 363,850円 | |
| 薬剤師（２人） | 97,400円 | 教室の空気環境検査、プール等の衛生検査、食器洗浄検査 |

■施設修繕料

（単位：円）

| 福崎西中学校 | 福崎東中学校 | 計 |
|---|---|---|
| 1,032,112 | 354,350 | 1,386,462 |

■委託料関係

（単位：円）

| 区分＼校名 | 福崎西中 | 福崎東中 | 計 |
|---|---|---|---|
| 植木剪定委託料 | 161,238 | 100,000 | 261,238 |
| スクールカウンセラー活動委託料 | 150,000 | 150,000 | 300,000 |
| リソグラフ保守管理委託料 | 37,150 | 0 | 37,150 |
| 「トライやる・ウィーク」推進事業委託料 | 600,000 | 600,000 | 1,200,000 |
| 清掃委託料 | 0 | 120,000 | 120,000 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 警備委託料 | 309,744 | 309,744 | 619,488 |
| 電気設備管理委託料 | 126,000 | 126,000 | 252,000 |
| 貯水槽管理委託料 | 93,960 | 96,120 | 190,080 |
| 給食用昇降機点検委託料 | 54,000 | 54,000 | 108,000 |
| 消防設備点検委託料 | 35,640 | 35,640 | 71,280 |
| プール循環装置点検委託料 | 21,384 | 21,384 | 42,768 |
| 部・課外活動委託料 | 150,000 | 150,000 | 300,000 |
| エレベーター点検委託料 | 440,640 | 0 | 440,640 |
| 教育用コンピュータ保守管理委託料 | 719,118 | 719,118 | 1,438,236 |
| 計 | 2,898,874 | 2,482,006 | 5,380,880 |

■借上料

中学校コンピュータ等借上料　2,584,640円

■備品購入費関係

国庫補助金等（理科教育設備整備費等補助金等）により、図書購入・理科教材等備品購入を行い、施設整備の充実を図りました。

| 区分＼校名 | 福崎西中学校 | 福崎東中学校 | 事務局 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 一般備品 | 752,856 | 1,693,659 | 345,600 | 2,792,115 |
| 教材備品 | 906,029 | 729,089 | 267,804 | 1,902,922 |
| 図書購入費 | 0 | 295,992 | 0 | 295,992 |
| 計 | 1,658,885 | 2,718,740 | 613,404 | 4,991,029 |

□効果・達成度

適正な事務処理が遂行できました。予算の適正な執行に努めました。

□課題・改善

教育情勢の変化に的確に対応し、さらなる教育行政の充実に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 40,323,000 | 39,570,771 | 1,126,000 | | | 38,444,771 |

| 事業名 | 中学校施設補修事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 学校施設の補修等に要した経費です。 |

成果

老朽化等による不良箇所の修繕等を行いました。

■施設補修関係

（単位：円）

| 学校名 | 内　　容 | 金額 | 各学校合計 |
|---|---|---|---|
| 福崎西中 | プール機械室配管修理工事 | 299,160 | |
| | グランド周囲芝張り工事 | 458,460 | |
| | 体育館ランプ取替工事 | 78,300 | |
| | 大型時計入替工事 | 273,240 | |
| | 電話機入替工事 | 438,804 | |
| | 消防不良箇所修理工事 | 20,196 | |
| | トイレ洋式化工事（男女各１箇所） | 499,932 | |
| | その他 | 490,600 | 2,558,692 |
| 福崎東中 | プール水漏れ等改修工事 | 1,458,000 | |
| | 体育館緞帳吊ワイヤー交換・調整工事 | 97,200 | |
| | 校舎南面軒雨水侵入防止工事 | 154,440 | |
| | 体育館ランプ取替工事 | 78,300 | |
| | 調理室・家庭科室水道管修理工事 | 386,640 | |
| | トイレ洋式化工事（男女各１箇所） | 497,880 | |
| | その他 | 84,240 | 2,756,700 |
| 合　　計 | | | 5,315,392 |

成果

□効果・達成度

福崎東中学校については、プールの水漏れ改修に速やかに対応し、円滑な学校運営を行うことができました。その他、いずれの中学校においても学校生活における安全に寄与するため、緊急を要する箇所について、修繕できました。しかし、補修の必要な全ての箇所については、まだまだ補修が追いついていない状況です。

□課題・改善

補修の真に必要な箇所を十分に把握し、計画的な補修事業を展開することにより、引き続き適正な管理運営に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 8,090,000 | 5,315,392 | | | | 5,315,392 |

| 事業名 | 学校施設耐震化事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 避難所ともなっている福崎西中学校及び福崎東中学校体育館の非構造部材耐震化のための実施設計に要した経費です。 |
| 成果 | ■委託料<br>実施設計委託料　644,155円（請負業者：㈱鷲尾建築設計事務所）<br>□効果・達成度<br>平成27年度の施工にむけて実施設計を完了することができました。平成27年度は体育館のバスケットゴールや照明器具の落下防止、窓ガラスへの飛散防止フィルム貼付等の工事を行います。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,000,000 | 644,155 | | | | 644,155 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 3.中学校費 | 2.教育振興費 | 4,785,000円 | 4,541,304円 | 243,696円 |

心身に障がいのある生徒の教育及び要保護・準要保護生徒の扶助に要した経費で、主な支出は、一般事務費、備品購入費及び就学援助費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 中学校教育振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 障がいに応じた教育課程を編成し、教育活動の充実を図りました。<br>教育の機会均等を保障するため、就学援助を行いました。 |

**成果**

備品等を充実させ、学級運営の円滑化を図りました。

西中　３学級（知的、自閉症・情緒、肢体）

東中　１学級（知的）

■学校別生徒数調（特別支援学級）

H26.５.１現在（単位：人）

| 校名＼学年 | １年 | ２年 | ３年 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 福崎西中学校 | 3 | 3 | 2 | 8 |
| 福崎東中学校 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 計 | 3 | 5 | 3 | 11 |

■備品購入費

（単位：円）

| 区分＼校名 | 福崎西中学校 | 福崎東中学校 | 計 |
|---|---|---|---|
| 一般備品 | 61,560 | 0 | 61,560 |
| 教材備品 | 55,056 | 152,788 | 207,844 |
| 計 | 116,616 | 152,788 | 269,404 |

経済的理由で就学困難な生徒に対して就学援助を行いました。

■就学援助費支給状況

| 扶助内容 | 人数(人) | 金額(円) |
|---|---|---|
| 学用品 | 38 | 834,910 |
| 修学旅行 | 11 | 567,722 |
| 新入学学用品 | 12 | 231,450 |
| 給食費 | 33 | 1,675,150 |
| クラブ活動費 | 16 | 284,000 |
| 生徒会費 | 31 | 40,900 |
| ＰＴＡ会費 | 32 | 55,400 |
| 計 | 173 | 3,689,532 |

□効果・達成度

就学援助により、援助の必要な児童の教育環境を整えることができました。

□課題・改善

さらなる特別支援教育の支援及び就学援助の充実に努めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 4,785,000 | 4,541,304 | 124,000 | | | 4,417,304 |

⑷　幼稚園費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 4.幼　稚　園　費 | 1.幼　稚　園　費 | 82,597,000円 | 80,573,127円 | 2,023,873円 |

就学年齢未満の幼児教育、幼稚園園舎の維持管理、教材教具の整備充実、研究活動の充実向上に要した費用です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 幼稚園管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 就学前教育の研究･向上に努め、運営の充実を図りました。また、福崎幼児園・田原幼児園と八千種幼児園では、同一の施設内で幼稚園と保育所間の交流も行いました。 |

成果

■幼稚園別園児、職員数

H26.５.１現在

| 園　名 | 園児数（人） | 職員数（人） | クラス数 |
|---|---|---|---|
| 福　崎　幼 | 20 | 2 | 2(長時間部を含む) |
| 高　岡　幼 | 8 | 1 | 1 |
| 田　原　幼 | 11 | 2 | 2(長時間部を含む) |
| 八　千　種　幼 | 8 | 2 | 1 |
| 合　計 | 47 | 7 | 6 |

主な支出は、内科・歯科医報酬、賃金、施設管理委託料、備品購入費及び負担金です。

■園医等の報酬

内科医（４人）　定期健康診断 361,250円

歯科医（３人）　歯科検診 102,330円

高岡幼稚園園長手当 60,000円

■預かり保育年間のべ利用状況

（単位：人・時間）

| 福崎幼 | | 高岡幼 | | 田原幼 | | 八千種幼 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 時間 | 人数 | 時間 | 人数 | 時間 | 人数 | 時間 | 人数 | 時間 |
| 110 | 652 | 25 | 369 | 54 | 945 | 53 | 615 | 242 | 2,581 |

■委託料

（単位:円）

| 区分＼園名 | 福崎幼 | 高岡幼 | 田原幼 | 八千種幼 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 植木剪定委託料 | 39,376 | 7,383 | 2,568 | 3,424 | 52,751 |
| 警備委託料 | 0 | 154,872 | 0 | 0 | 154,872 |
| 合計 | 39,376 | 162,255 | 2,568 | 3,424 | 207,623 |

成果

■備品購入費

（単位:円）

| 区分＼園名 | 福崎幼 | 高岡幼 | 田原幼 | 八千種幼 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般備品 | 106,446 | 28,890 | 12,765 | 36,655 | 184,756 |
| 教材備品 | 76,788 | 0 | 0 | 55,209 | 131,997 |
| 合計 | 183,234 | 28,890 | 12,765 | 91,864 | 316,753 |

■学童農園体験学習実施状況

| 園名 | 内容 | 人数(人) | 金額（円） |
|---|---|---|---|
| 福崎幼 | いも苗さし・いも掘り | 41 | 6,150 |
| 高岡幼 | いも苗さし・いも掘り | 16 | 2,400 |
| 田原幼 | いも掘り | 11 | 1,650 |
| 八千種幼 | いも苗さし・いも掘り | 15 | 2,250 |
| 合計 | | 83 | 12,450 |

成果

□効果・達成度

就学前教育の充実をはじめ、適正な運営に努めることができました。

□課題・改善

平成27年４月から、すべての園が幼保連携型認定こども園に移行します。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,507,000 | 8,270,847 | | | 3,361,200 | 4,909,647 |

| 事業名 | 幼稚園施設補修事業 |
|---|---|

事業内容

児童の安全・安心な園生活の場を確保するため、幼稚園施設の補修を行いました。

成果

| 園名 | 内容 | 工事費 |
|---|---|---|
| 福崎幼 | トイレ洋式化 | 648,000円 |
| | サッシ用クレセント取替 | 4,104円 |
| 八千種幼 | プールシャワー止水栓取替 | 68,688円 |
| 合計 | | 720,792円 |

□効果・達成度

安全・安心な園生活の確保に努めることができました。

□課題・改善

今後も適正な管理に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,290,000 | 720,792 | | | | 720,792 |

| 事業名 | 高岡幼児園建設関連事業【新規】 |
|---|---|
| 事業内容 | 高岡幼児園を建設するに当たり、幼稚園舎として使用していた建物が工事において支障となったため仮設園舎を借り上げ、工事期間中の園生活を送りました。 |
| 成果<br>成果 | 高岡幼児園建設工事期間中の仮設園舎借上料、備品購入費、施設移転に要した手数料などです。<br>主な支出は、次のとおりです。<br>■借上料<br>仮設園舎借上　16,336,890 円（平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月）<br>■委託料<br>倉庫解体・移動等　37,800 円<br>■手数料<br>グランドピアノ保管等　202,800 円<br><br>■備品購入費<br>物置　324,000 円<br>その他一般備品　293,274 円<br>□効果・達成度<br>工事期間中の快適な園生活の確保に努めることができました。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 17,663,000 | 17,593,338 | | | | 17,593,338 |

⑸　社会教育費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 1.社会教育総務費 | 44,947,000円 | 44,082,557円 | 864,443円 |

生涯学習社会の充実、家庭や地域社会における教育力の向上に資するための社会教育全般にわたる事業の推進、また、青少年健全育成活動の推進に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 社会教育総務一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | 社会教育委員７人に係る報酬、社会教育全般にわたる事務事業の推進のために要した経費です。<br>主な事業として、成人式や吉識雅夫科学賞を実施しました。 |
| 成果 | ■社会教育委員会の活動<br>・社会教育委員会<br>第１回　　５月 22 日（木）<br>第２回　　12 月 ３ 日（水）<br>第３回　　３月 18 日（水）<br>・中・西播磨地区社会教育連絡協議会合同研修会　７月 16 日（水）<br>・近畿地区社会教育研究大会（吹田市）　９月 12 日（金）<br>・中播磨地区社会教育連絡協議会研修会　９月 29 日（月）<br>■成人式　１月 12 日（月・祝）　該当者 234 人中 178 人の参加<br>新成人代表 10 人による実行委員会を組織し、企画立案から記念品の選定、式典・アトラクション準備、当日の式典等の進行までを、積極的に進めてくれました。<br>・第１部　成人式式典<br>・第２部　アトラクション（ビンゴゲーム）<br>■第７回吉識雅夫科学賞<br>吉識雅夫の顕彰を図るとともに子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めることを目的として、自然科学分野で優れた研究等を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。<br><br>・小学生低中学年の部<br>大塚　みつき（田原小学校３年生）　作品名「うくかな　しずむかな」<br>・小学生高学年の部<br>城谷　佳梓乃（八千種小学校５年生）　作品名「船の形と速さの研究」<br>・中学生の部<br>山下　翔（福崎東中学校３年生）　作品名「プラナリアの研究」 |
| 成果 | □効果・達成度<br>社会教育委員から意見を聞き、成人式や吉識雅夫科学賞をはじめとする社会教育行政の推進に努めました。成人式は平成25年度と同等の約76％の出席率となりました。吉識雅夫科学賞は平成26 年度で７回目を迎え、ホームページ等を用いて住民への周知に努めました。<br>□課題・改善<br>地域のニーズや課題に対応した各種事業が展開できるよう、社会教育委員の意見を求めていきます。また、委員の研修機会を充実します。 |

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 1,955,000 | 1,514,120 | | | | 1,514,120 |

| 事業名 | 地域ぐるみ教育支援事業【拡充】 |
|---|---|

**事業内容**

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的に活動しました。主な取り組みは、土曜英語教室・サマースクール・ウィンタースクール等の教育支援活動、学校から依頼を受けて行った登下校時の見守りや校内巡視、清掃作業等の学校支援活動です。

**成果**

■学校支援活動（学校支援地域本部事業）

・ヘルパー活動

スクールヘルパー　…　午前・午後各３～５人ずつによる校内巡視

地域ヘルパー　　…　登下校時の見守り（１自治会で２～３か所）

| | スクールヘルパー | 地域ヘルパー |
|---|---|---|
| 福崎小学校　（151 人） | 毎週火・木曜日 | 毎週金曜日 |
| 高岡小学校　（ 58 人） | 毎週水曜日 | 毎週水曜日 |
| 田原小学校　（126 人） | 毎週月・水・金曜日 | 週３回 |
| 八千種小学校（122 人） | 毎週火・木曜日 | 毎週水曜日 |

・学校支援ボランティア活動

| 依頼内容 | 学校 | 支援者 | 実施日 | 活動場所 |
|---|---|---|---|---|
| 図書貸出 | 福崎小学校 | ２人 | 平成25年度に引き続き４月 15 日から毎週火曜(朝･昼)・水曜(朝) | 図書室 |
| 図書貸出 | 八千種小学校 | 11 人 | 平成25年度に引き続き４月 21 日から毎週月曜～金曜(昼) | 図書室 |

■教育支援活動（地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業）

・土曜英語教室　小学５・６年生対象

平成26年６月から平成27年３月までの土曜日　各校区月１回

高岡県民交流広場、福崎県民交流広場、田原県民交流広場、八千種県民交流広場

・サマースクール　小学４・５・６年生対象

平成26年８月１日(金)・４日(月)～７日(木)

八千種県民交流広場、高岡県民交流広場

平成26年８月６日(水)～８日(金)・11日(月)・12日(火)

文化センター、サルビア会館

・親子で学ぶ防災・減災体験セミナー　小学４・５・６年生の親子対象

平成26年７月20日(日)　文化センター

・ウィンタースクール　中学３年生対象

平成26年10月18日(土)～平成27年３月７日(土)の土曜日

文化センター、サルビア会館（会場交互で実施）

□効果・達成度

地域ボランティアの支援で、子どもたちの安全確保や学校の良好な環境づくりに寄与することができました。また学校の休業日・土曜日に、地域の力を借りて学習の場を提供することができました。

成果

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 地域スクールヘルパー登録者数 | 470人 | 457人 |

□課題・改善

継続的な活動にしていくために、各学校へのボランティア制度の周知、ボランティアの確保に努めていきます。また休業日の学習への参加者が増えるよう周知に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,337,000 | 1,197,538 | 595,000 | | | 602,538 |

| 事業名 | 青少年健全育成関係事業 |
|---|---|

事業内容

青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会の開催や啓発リーフレットの作成、青少年補導委員会活動への補助等を行いました。

また、青少年に有害な図書やＤＶＤ類を回収している白ポスト（町内９か所のうち８か所）のリフレッシュ工事を行いました。

成果

■青少年問題協議会の開催（年２回）

第１回目　平成26年６月30日（月）

第２回目　平成27年２月25日（水）

■研修会・フェスティバルの開催

・人権・青少年健全育成研修会

（区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修）

平成26年５月24日（土）　啓発ＤＶＤ視聴・講話　参加者：107人

・人権・青少年健全育成フェスティバル

平成26年12月７日（日）　福崎町エルデホール　参加者：309人

（内容）体験発表　　小中学生

講演　　演題「１００人の村、あなたもここに生きています」

講師：作家・翻訳家　池田香代子

■啓発リーフレットの作成（各戸、町内店舗等に配布）　6,300枚　17,540円

■青少年補導委員会活動状況

・定例会　10回

・街頭補導（下校時巡回、白ポスト回収、長期休暇中巡回、イベント時巡回等）

| | 26年度 | 25年度 | 24年度 |
|---|---|---|---|
| 街頭補導回数 | 85回 | 85回 | 81回 |

・ＬＩＮＥ株式会社による情報モラル研修の開催　平成27年２月12日（木）

□効果・達成度

研修会、フェスティバル等により、地域住民の青少年健全育成意識を高めることができました。

また、啓発リーフレットの作成や啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりを行うことができました。

| | |
|---|---|
| 成果 | □課題・改善<br>今後も地域の青少年健全育成委員、青少年補導委員会、学校、各種団体との連携を図り、有害環境の改善や声かけ運動を実施します。<br>近年、スマートフォンなどの急速な普及に伴い、ＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）の利用を通じたトラブルに児童生徒が巻き込まれるケースが増えています。こうした現状をふまえ、青少年や保護者、地域の方々に、インターネットの利便性とともに危険性を正しく認識してもらうため、自治会研修会で重点的に学習する必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,975,000 | 2,856,469 | | | | 2,856,469 |

| 事業名 | 家庭教育学級開設事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 幼稚園（１園）・幼児園短時間部（３園）・小学校（４校）・中学校（２校）のＰＴＡ会員を対象に、各ＰＴＡ学級の活動を援助し、子育てについて保護者の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した学習会や講演会の開催、また、保護者同士のコミュニケーションを持つ奉仕活動やスポーツ大会等、１年を通して実施するのに要した費用です。 |
| 成果 | ■家庭教育学級補助金<br>幼稚園・幼児園短時間部　４園@40,000円＝160,000円<br>小中学校　６校@80,000円＝480,000円<br>□効果・達成度<br>学級開設により、責任を持って子育てができる資質と実践力を学び、家庭の教育力を高めることができました。<br>□課題・改善<br>今後も継続して実施し、保護者の子育てを支援していきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 640,000 | 639,998 | | | | 639,998 |

| 事業名 | 各種団体育成事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 社会教育関係団体を育成することを目的とし、自主的な活動を財政的な面から支援しました。主な支出は、町ＰＴＡ、町文化協会等への補助金です。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■負担金<br>・神崎郡美術協会負担金　22,000円　　・神崎郡連合ＰＴＡ協議会負担金　56,000円<br>■補助金<br>・福崎町ＰＴＡ協議会補助金　80,000円　・福崎町文化協会補助金　400,000円<br>□効果・達成度<br>町内及び郡内の社会教育関係団体と連携を図り、各種事業を実施することができました。<br>□課題・改善<br>今後も継続して実施し、社会教育の発展に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 558,000 | 558,000 | | | | 558,000 |

| 事業名 | こころ豊かな地域づくり推進事業 |
|---|---|
| 事業内容 | こころ豊かなまちづくりと人づくりをめざし、福崎町の地域づくり、景観づくりをボランティアの立場から考えて行動しようとする自主的なグループを育成する事業を実施しました。 |
| 成果 | ■福崎町ココロンクラブ<br>年間９回（４月～11月・３月の毎月１回）役場周辺道路の街路樹下の維持管理を行いました。<br>■みどりのグループ<br>年間を通じて、毎月２回、町内の５か所の花壇と、県のプランターの維持管理を行いました。<br>■福崎町手芸ボランティア<br>趣味の手芸作品を作って販売し、売上金を社会福祉協議会に寄付しました。<br>■国際食文化交流の会<br>福崎町在住の外国人が暮らしやすく、日本人と外国人が異なる文化を尊重しながらともに生活できる環境づくりを進めるため、２か月に１回、料理を通して国際交流を行いました。<br>■たんぽぽ<br>子どもや高齢者、障がいのある方々に、お話や簡単な手遊び等で、癒しのひとときを過ごしてもらいました。<br>□効果・達成度<br>“住みよい町づくり”を目指してボランティア会員に大変熱心に取り組んでいただきました。<br>□課題・改善<br>ボランティア会員の高齢化が進んでいるため、ボランティアの輪を広めて新規会員の加入促進に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 380,000 | 334,215 | | | | 334,215 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 2.公民館費 | 7,393,000円 | 6,793,264円 | 599,736円 |

生涯学習の場の提供、町民が主体的に学習するための講座や教室の開講に要した経費です。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 公民館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町内における各種文化活動やクラブ活動の活性化を図るとともに、活動の場と交流の機会を提供し、利用者のニーズに応じたよりよい施設運営を行いました。<br>また、平成26年度に文化功労賞を創設し、町の芸術文化の向上と発展に寄与された方に文化功績賞及び文化功労賞を授与しました。 |

成果

■公民館クラブ活動

登録クラブ数及び人数

| 登録会場名 | 登録クラブ数（クラブ） | 登録人数（人） |
|---|---|---|
| 文化センター会場 | 33 | 382 |
| 八千種研修センター会場 | 22 | 256 |
| 地区会場 | 37 | 288 |
| 合計 | 92 | 926 |

公民館クラブは町内で活動する文化クラブを対象とし、公民館クラブ連絡協議会（事務局：文化センター）に登録した団体で組織されています。各クラブとも熱心に取り組まれ、住民の文化の高揚、研さんの場として施設を有意義に利用されました。

■文化功績賞

| 氏名 | 所属 | 分野 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 豊国　俊一 | 神崎郡美術協会 | 写真 | 第99回二科展第62回写真部展　単写真部門入選 |
| 中川　彩瑛 | 福崎東中学校２年生 | 食育の啓発活動 | 平成26年度食育絵手紙コンクール　兵庫県知事賞受賞 |

■文化功労賞

| 氏名 | 所属 | 分野 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 山本　富美子 | 福崎町公民館クラブ書道クラブ | 地域文化の普及発展（書道） | 長年にわたる地域の芸術文化活動の指導・支援 |
| 山下　恵美子 | 福崎町公民館クラブ手芸クラブ | 地域文化の普及発展（手芸） | 長年にわたる地域の芸術文化活動の指導・支援 |

□効果・達成度

町内外の行事やイベントに積極的に参加することで、各クラブの活動の幅が広がりました。

□課題・改善

公民館クラブ会員の高齢化が進んでいるため、活性化に向けて若年層の利用促進を支援していきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,969,000 | 1,724,790 | | | | 1,724,790 |

| 事業名 | 老人大学事業 |
|---|---|
| 事業内容 | ともに学び語り合うことで、充実した生きがいのある生活を送るための基盤を確立するとともに、地域活動を実践していく指導者の養成を目的として、老人大学事業を実施しました。 |

**成果**

できるだけ多くの方々に学習していただけるよう、町内外を問わず募集しました。

神崎学園（２年制）・福寿学園として２学園制で運営しました。専門講座では、年間20回、園芸（野菜・花き）・陶芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・史学・ＩＴの全８コースの講座を行いました。一般教養講座については、年間10回の講演会等を開催し、10月に親睦運動会、11月に老人大学祭を実施しました。

■受講生の推移　（単位：人）

| | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|---|---|---|---|
| 神崎学園 | 111 | 101 | 88 |
| 福寿学園 | 209 | 211 | 212 |
| 合　計 | 320 | 312 | 300 |

□効果・達成度

老人大学を運営することにより、学習の場と交流の機会を提供し、生きがいづくり及び社会参加を促進しました。また、老人大学学生自治会の自主的なクラブ活動等も活発になりました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 老人大学受講者数 | 360人 | 300人 |

□課題・改善

受講生のニーズを調査し、専門講座の再編を検討していきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,453,000 | 2,395,573 | | | 52,000 | 2,343,573 |

| 事業名 | セミナー事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 有益な知識や情報を提供し、現在の生活を見つめ直して、心豊かで生きがいのある人生を送ることができるよう、サルビアセミナーを実施しました。 |

**成果**

■サルビアセミナー

開催回数：10回（うち５回公開講座）

学習テーマ：「セルフイメージで輝く私をマネジメント」「三木家と福崎町」「身近な漢方」「クリスマス・アカペラコンサート」「ドラマで読み解く韓国社会・韓国文化」等

受講生の推移

| | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|---|---|---|---|
| 受講生（人） | 209 | 211 | 190 |

□効果・達成度

受講生同士の交流も活発になり、新たなコミュニティ形成につながりました。

成果

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| セミナー事業受講者数 | 220人 | 190人 |

□課題・改善

男性受講者の増加に向け、講座内容の創意工夫に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 559,000 | 400,211 | | | 161,500 | 238,711 |

| 事業名 | 美術展事業 |
|---|---|

事業内容

優れた芸術作品に親しみ、町民の芸術文化への関心を高めるために、第32回福崎町美術展を開催しました。地域に根をおろした内容のある公募美術展として定着し、平成26年度も約600人の来場者を得ることができました。なお、平成26年度から全部門で審査員が交代しました。

成果

■第32回福崎町美術展

会期：平成26年５月16日（金）～５月18日（日）

会場：エルデホール　メインホール

部門及び審査員　日本画　平内　安彦
洋画　初田　寿
書　福島　松韻
写真　柳原　香
彫塑・工芸　山本　和子

美術展応募数・展示数

| | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|---|---|---|---|
| 応募数（点） | 190 | 182 | 180 |
| 展示数（点） | 134 | 137 | 135 |

□効果・達成度

町内外から質の高い作品が出展され、日頃の創作活動の成果を発表する場、芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供することができました。

□課題・改善

町内外から多くの作品応募があるよう、また、多くの来場者があるよう、広報活動の充実に努めます。応募全作品の展示ができるよう検討します。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 984,000 | 926,583 | | | | 926,583 |

| 事業名 | 文化振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に実施しました。県民芸術劇場では、歌曲からピアノソロまでクラシックの名曲を中心に、心に響き癒される音楽を楽しむことができました。文化講演会は２部構成で実施し、第１部の福崎町・遠野市友好都市提携記念講演では遠野市のまちづくりの取り組みについて、第２部の文化講演では怪談と日本文化の関係性についてご講演いただきました。 |
| 成果 | ■県民芸術劇場<br>日時：平成26年11月９日（日）午後２時～<br>場所：エルデホール　メインホール<br>出演：（公財）アルカディア音楽芸術財団<br>内容：「ソプラノ＆ピアノのオータムコンサート」<br>入場者数：約220人<br>■文化講演会<br>第１部　福崎町・遠野市友好都市提携記念講演<br>日時：平成26年11月１日（土）午後２時20分～<br>場所：文化センター　大ホール<br>演題：「遠野スタイルによるまちづくり」<br>講師：遠野市長　本田敏秋<br>入場者数：約600人<br>第２部　文化講演<br>日時：平成26年11月１日（土）午後３時～<br>場所：文化センター　大ホール<br>演題：「怪談と日本文化」<br>講師：タレント・怪談家　稲川淳二<br>入場者数：約600人<br>□効果・達成度<br>事業を通して、町民の文化意識の高揚、文化交流を図ることができました。<br>□課題・改善<br>より多くの方に来場いただけるように、住民ニーズの動向に注意し、また広報活動に力を入れて取り組んでいきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,428,000 | 1,346,107 | | | | 1,346,107 |

| 1次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 3.図書館費 | 54,712,000円 | 54,428,317円 | 283,683円 |

平成26年度は、福崎町子どもの読書活動推進計画に沿って平成25年度に引き続き、毎月29日を「フクちゃん読書の日」として読書の啓発に努めました。

また、各学校からの図書館見学の受け入れや町内小学校全クラスを図書館応援隊おはなしのとびらと職員が訪問して、おはなし会を開催し、子どもたちの読書への関心を高めました。

えほんのじかん、紙芝居グループ、かたりべグループの協力もあり、学校の要望に沿った学校訪問ができました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 図書館管理事業 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業内容 | 住民が学習・調査研究を行う情報拠点として、また各種講座やイベント、ボランティア活動等を通した学習発表の場として、安全で快適に利用できるよう施設管理に努めました。施設の維持管理に係る光熱水費や修繕費、委託料が主な支出です。 | | | | |
| 成果 | 図書館をより長く、安全に安心して利用していただけるよう、施設の維持補修等を実施しました。主な修理箇所は下記のとおりです。<br>・幼児用トイレ換気扇取替（31,320円）<br>・空冷チラー温度調節器交換（291,600円）<br>□効果・達成度<br>定期的な点検や部品交換等の実施により、安全で安心な施設管理、運営ができました。<br>□課題・改善<br>定期的な点検、補修を継続して実施することで、施設の耐久性延伸と快適な読書空間の提供を図る必要があります。 | | | | |
| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 9,964,000 | 9,888,179 | | | | 9,888,179 |

| 事業名 | 図書館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 住民の自主学習を支え、ニーズに応じた情報提供を行えるように資料の整備や図書館広報・読書推進のための行事等を行いました。<br>また幼少期の読書習慣の重要性を考慮し、子どもの読書環境整備につながる行事等を実施しました。 |

成果

平成26年度は、町内小中学生に配布した「福崎町立図書館読書ノート」の活用啓発や、サキちゃん読書の日イベントの実施により、子どもの読書活動推進に努めました。また、図書館に興味を持ってもらえる行事を実施することで来館のきっかけづくりに努めました。

■主な行事

さいとうしのぶさんえほんライブ＆ワークショップ
社会福祉協議会と共催の点字教室
図書館の本を活用して実施した紙ねんど教室
おりがみ教室
クリスマス工作教室
えかきももみさんによるワークショップ
絵本の読み聞かせ講座（全３回）
キャンドルナイト
図書館であそぼ会

■ギャラリーで個展やギター＆マンドリンコンサートなどを開催し、大人向けの来館の機会を設けました。

■図書館応援隊に対し、補助金を交付し、活動を助成しました（200,000 円）。

■貸出冊数・貸出人数

| | 貸出人数(人) | 貸出点数(点) | 年度末登録者数(人) |
|---|---|---|---|
| 24 年度 | 46,583 | 201,773 | 12,253 |
| 25 年度 | 46,717 | 202,308 | 12,775 |
| 26 年度 | 46,871 | 206,674 | 13,277 |

成果

□効果・達成度

図書館利用が定着し、来館者数や貸出状況は、安定して推移しています。

年度末の蔵書点数は、130,243点となりました。

定例行事の「えほんのじかん」「おはなし会」「おたのしみ会」等は、図書館応援隊と協力しながらたくさんの子どもたちに参加してもらい、えほんや読書の楽しさを伝えることができました。

また、図書館応援隊おはなしのとびらが選書したおすすめ本リストを参考に保護者が本を借りていくことも多く、より良い読書環境づくりにつながりました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 図書館貸出人数 | 50,000人 | 46,871人 |

□課題・改善

学校からの図書館見学を契機に、図書館利用につながっているため、引き続き学校との連携を図り、子どもの読書活動を推進していきます。

大人向けに実施したギター＆マンドリンコンサートが好評だったため、引き続き大人向け行事を実施するとともに、中高生向けの行事を実施し、よりたくさんの人に継続して利用してもらえるよう努力していく必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 24,085,000 | 24,057,547 | | | 919,550 | 23,137,997 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 4.文化センター管理費 | 34,365,000円 | 32,811,602円 | 1,553,398円 |

町民はもちろんのこと、町外の方々にも多く利用され、社会教育及び生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている文化センターの管理・運営に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 文化センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 文化センターは近隣施設との連携によって、町民の文化意識の向上、福祉増進及び体育振興のため、各種事業展開の中心的役割を果たしています。学習活動、文化活動、ボランティア活動等の拠点として、文化センターの効率的な管理運営を行いました。<br>主な支出は、施設の維持管理に要した経費で、人件費、光熱水費、維持補修費、委託料等です。 |

成果

■施設の維持補修

平成26年度は施設の維持補修として、小ホール・講義室照明器具取替工事（642,600 円）、自動火災報知設備更新（388,800 円）等を行いました。

■文化広報誌

「文化センターだより」「福崎町文化第 31 号」を刊行し、各戸配布しました。

ました。

■文化センターの利用状況

| | 有料及び無料使用件数 | | | | | 使用料（円） | 使用者数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 有料（件） | 無料（件） | | | 合計（件） | | |
| | | 町関係他 | 公民館 | 教委 | | | |
| 24年度 | 370 | 179 | 1,340 | 462 | 2,351 | 1,115,118 | 44,864 |
| 25年度 | 313 | 200 | 1,137 | 634 | 2,284 | 811,782 | 42,292 |
| 26年度 | 309 | 195 | 1,034 | 561 | 2,099 | 971,678 | 37,872 |

（※平成26年度から生活科学センター分を除く）

□効果・達成度

適切な補修により、施設の安全管理に努めました。各種文化情報の提供に努めました。

□課題・改善

施設の老朽化や社会状況から、耐震補強等の抜本的な施設補修、トイレの洋式化・バリアフリー化が必要となってきています。平成27年度は予算の範囲内においてトイレ改修工事をはじめ、利用者の安全面や利便性を優先した補修に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,599,000 | 9,085,603 | | | 971,678 | 8,113,925 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 5.エルデホール運営費 | 55,294,000円 | 55,038,644円 | 255,356円 |

地域住民の自由な創造活動を促進し、地域の振興と文化の発展を図るため、芸術・文化活動の場として貸館を行い、また自主公演事業を実施しました。施設の運営、管理に要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | エルデホール管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | エルデホールは隣接した施設とともに文化、地域振興の拠点としての役割を担っています。また施設及び設備の利用をとおしてより高い水準の文化活動を促進する施設として運営しています。これらの運営とともに施設の良好な状態を維持管理するために要した経費で、人件費、光熱水費、修繕費、委託料、空調設備工事費等です。 |

成果

貸館事業としては、講演会・講習会・ピアノ等発表会、各種展示・販売、会議、各種パーティー、屋外イベント等、多種多様に活用されました。

■利用状況

| 年度 | | | ﾒｲﾝﾎｰﾙ | ｲﾍﾞﾝﾄﾎｰﾙ | 洋室 | スタジオ | ホワイエ | 屋外舞台 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24年度 | 開館日数 294 | 利用日数(日) | 196 | 159 | 202 | 140 | 116 | 0 |
| | | 稼働率(%) | 66.67 | 54.08 | 68.71 | 47.62 | 39.46 | 0 |
| 25年度 | 開館日数 293 | 利用日数(日) | 183 | 163 | 201 | 129 | 103 | 6 |
| | | 稼働率(%) | 62.46 | 55.63 | 68.60 | 44.03 | 35.15 | 2.05 |
| 26年度 | 開館日数 293 | 利用日数(日) | 188 | 166 | 203 | 107 | 119 | 14 |
| | | 稼働率(%) | 64.16 | 56.66 | 69.28 | 36.52 | 40.61 | 4.78 |

※稼働率＝利用日数／開館日数

利用日数は利用のあった日数。１日に複数の利用者があっても１としています。

| 年度 | 貸館使用料収入 | 使用回数 | 使用者数 |
|---|---|---|---|
| 24年度 | 3,398,790円 | 880回 | 45,592人 |
| 25年度 | 3,598,320円 | 876回 | 46,653人 |
| 26年度 | 3,941,469円 | 899回 | 56,541人 |

■主な施設修繕工事費

開館から20年以上が経過し、施設や設備に故障・劣化が生じています。主な修繕は、ホワイエ照明器具の改修、朝市プラザの柱の塗装、２階洋室のクロス貼り替えを実施しました。また、安全で快適なホールを維持するため、各種の保守点検を行うとともに、年度途中で故障した２階洋室・ＡＶ室の空調機の入れ替えを行いました。

□効果・達成度

安全かつ快適に利用いただけるよう修繕に努めました。

□課題・改善

開館から20年以上が経過し、照明や音響装置、消防設備など大規模な改修が必要になってきています。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 27,989,000 | 27,974,143 | | | 3,941,469 | 24,032,674 |

| 事業名 | エルデホール自主公演事業 |
|---|---|

**事業内容**

自主事業は、住民の要望に基づく事業、若者文化の掘り起こし事業、住民参加型事業等、テーマ別に実施しました。また、地域文化の振興を目的に、芸術や文化の各種催しを企画から運営までを学ぶ文化プロデューサー育成講座を継続して実施しました。

**成果**

■自主事業実施状況

地域文化の振興と、文化・芸術への興味や知識を深めていただくために11回の自主公演事業（うち２回は住民企画事業、１回は宝くじ文化公演）、８回の文化プロデューサー育成講座を実施しました。これにともなう入場料収入の合計は3,660,950円でした。

自主事業一覧

| 実　施　日 | 内　　容 | 人数（人） |
|---|---|---|
| ４月12日(土) | 打打打団天鼓in福崎 | 261 |
| ５月３日(土・祝) | 石見神楽 | 355 |
| ６月22日(日) | よしもと落語会 | 242 |
| ８月９日(土) | エルデサマーコンサート2014<br>小西健太郎ヴァイオリンリサイタル | 299 |
| ８月23日(土) | 映画「アナと雪の女王」（４回上映） | 1,195 |
| ８月30日(土)～<br>11月22日(土) | 文化プロデューサー育成講座（全８回） | のべ85 |
| 10月５日(日) | 秋の映画祭 | 225 |
| 12月13日(土) | 辛島美登里トーク＆ライブ | 325 |
| 12月27日(土) | 山本譲二コンサート（２回公演） | 506 |
| １月31日(土) | ヤマモトダコンサート | 332 |
| ２月８日(日) | 宝くじ文化公演「大阪交響楽団名曲セレクション」 | 240 |
| ２月15日(日) | ふくさきカラオケ紅白歌合戦 | 350 |
| | 計 | 4,415 |

□効果・達成度

平成26年度も住民の意見や要望が、そのまま事業に反映でき、事業の企画運営にも参加していただく住民企画事業を募集し、２公演を実施することができました。これにより、地域づくりへの住民意識の高揚を図り、また手作りコンサートとして多くの方に喜んでいただきました。

文化プロデューサー育成は、８回講座として実施しました。平成26年度は実践編として受講生が企画を考え 11 月 22 日にかっぱ仮装コンテストを実施しました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| エルデホール自主公演事業平均入場者数 | 230人 | 288人 |

□課題・改善

住民要望を重視した事業を多く取り入れたことから、集客人数は増えました。今後も幅広い年代の住民が積極的に足を運ぶような企画、心から見たいという企画を中心に計画していきます。また一方で、文化度をあげるため集客にこだわらない伝統的な事業も取り入れていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一般財源 |
| 12,668,000 | 12,557,061 | | | 3,660,950 | 8,896,111 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 6.研修センター運営費 | 5,659,000円 | 5,266,887円 | 392,113円 |

八千種研修センターは、住民の文化教養の向上や地域社会の連携を深めるために運営しました。その管理・運営を効率的に行うために要した経費です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 研修センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 八千種研修センターは文化センター（中央公民館）の分館として、地域文化の向上、研さんの場としての役割を果たしています。利用者が安全で快適に利用できるよう、管理運営を行いました。<br>主な支出としては、施設の管理運営費と図書購入費です。 |
| 成果 | ■施設の維持補修<br>平成26年度は施設の維持補修として、非常照明設備取替（56,376円）、調理室換気扇取替（27,000円）を行いました。<br>■八千種研修センターの利用状況<br>第29回八千種研修センターまつりを平成26年10月18日（土）・19日（日）に実施し、当センターを利用している各種活動団体が日頃の活動の成果を発表しました。<br>■利用状況の推移及び貸出図書数　（　）は有料件数 |

| | 使用件数(件) | 使用人数(人) | 使用料（円） | 貸出図書数(冊) |
|---|---|---|---|---|
| 24年度 | 949（27） | 17,650 | 17,550 | 2,575 |
| 25年度 | 913（26） | 16,914 | 7,730 | 2,305 |
| 26年度 | 935（41） | 15,742 | 21,000 | 2,109 |

□効果・達成度

公民館クラブや各種活動団体の地域文化活動の拠点として、活動の場や交流の機会を提供しました。

□課題・改善

平成27年度は施設の補修として、トイレ改修工事に着手し、バリアフリー化に努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,189,000 | 2,802,598 | | | 21,000 | 2,781,598 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 7.青少年野外活動センター費 | 4,448,000円 | 3,738,034円 | 709,966円 |

青少年健全育成施設としての野外活動センターの管理に要する経費です。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 青少年野外活動センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 野外活動を通じて、青少年の健全育成を図り、また、地域住民の自然にふれる機会や交流の場を提供しました。施設管理に係る光熱水費及び委託料が主な支出です。 |

成果

■主な施設修繕工事費

・消火栓BOX内ポンプ運転操作増設工事　156,600円（請負業者：高岡電工㈱）

・食事棟手洗配水管取替工事　17,820円（請負業者：高岡電工㈱）

■主な委託料

・管理委託料　1,187,000円

・警備委託料　154,872円（請負業者：セコム㈱加西営業所）

・電気設備管理委託料　168,000円（請負業者：橋本電気設備）

■利用状況

（単位：円）

| 年度 | 施設利用者数（人） | 利用団体数 | 施設利用料 | 山小屋 | テント | テントサイト | 食器類 | 管理棟・多目的ホール | シャワー | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24年度 | 7,396 | 493 | 1,086,700 | 114,750 | 64,700 | 28,000 | 31,250 | 3,000 | 88,000 | 0 | 1,416,400 |
| 25年度 | 7,677 | 449 | 946,950 | 98,700 | 45,500 | 19,600 | 32,950 | 2,500 | 74,800 | 0 | 1,221,000 |
| 26年度 | 5,607 | 364 | 970,090 | 105,450 | 55,380 | 31,250 | 36,000 | 1,530 | 77,100 | 2,450 | 1,279,250 |

□効果・達成度

青少年野外活動センターは、自然に親しみながら友愛と協力の心を育て、青少年の健全育成を図ることを目的にした施設として利用者に定着しています。

□課題・改善

青少年野外活動センターは、近くに七種の滝、つなぎ岩、金剛城寺などがあり、一年を通して自然の景観に優れています。町内外の青少年健全育成団体に年間を通して利用いただけるよう、恵まれた立地を生かした広報活動を行う必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,448,000 | 3,738,034 | | | 1,279,250 | 2,458,784 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 繰越明許額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 8.人権教育振興費 | 9,000,000円 | 5,651,346円 | 3,000,000円 | 348,654 円 |

急激な社会構造の変化により、人権問題も多様化・複雑化し、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、同和問題、外国人等の問題に加えて、個人情報の流出、働く人の人権、地球環境と人権の問題等、新たな問題が生じています。

福崎町では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着している社会をめざして、人権について一層理解を深めていただくために、家庭や学校、職場、地域において研修を行い、人権意識の高揚を図りました。

なお、男女が対等なパートナーとして、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる「男女共同参画社会」の実現をめざして「福崎町男女共同参画基本計画」を策定する費用を計上し、繰越明許費として翌年度に繰り越しました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 人権教育振興事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町民等の人権意識高揚を図るため、自治会単位研修会を開催しました。また、「人権文化を高める教育内容を創造しよう」をテーマとした研究大会に参加しました。<br>主な支出は、研修会の開催、研究大会への参加に係る費用及び各協議会等への負担金並びに自治会単位研修会、西播磨地区人権教育研究協議会指定、神崎郡人権教育研究協議会指定、福崎町民主化推進協議会指定人権教育実践発表会の補助金です。 |

成果

■研修会の開催及び研究大会への参加

・人権・青少年健全育成研修会
（区長、人権教育推進委員、青少年健全育成委員、補導委員合同研修）
平成26年５月24日（土）　啓発ＤＶＤ視聴・講話　参加者：107人

・自治会単位人権・青少年健全育成研修会
32自治会が実施　　参加者：1,167人

・神崎郡人権教育研究大会
平成26年８月１日（金）　福崎東中学校
学校教員を主に企業の参加者により人権関係の研究課題を討議　参加者：107人

・神崎郡人権教育研究協議会　学校園所部会人権教育講演会　福崎町エルデホール
講師：Life　Point（ｓ）共同代表　堀川　歩
演題：「あなたも私もマイノリティ！？～みんな違って当たり前～」　参加者：71人

・兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会
平成26年８月24日（日）　赤穂市文化会館外　参加者：22人

・兵庫県人権教育研究大会中央大会
平成26年10月４日（土）・５日（日）洲本市文化体育館外　参加者：15人

・西播磨地区人権教育研究協議会指定、神崎郡人権教育研究協議会指定、福崎町民主化推進協議会指定　人権教育実践発表会（公開授業・全体会）
平成26年10月31日（金）　福崎東中学校　参加者：207人

・西播磨地区人権教育研究協議会　啓発活動研究大会
平成27年２月14日（土）　さよう文化情報センター　参加者：６人

■負担金

・民主化推進協議会負担金　450,000円
・神崎郡人権教育研究協議会負担金　298,000円
・神崎郡民主化推進連絡協議会負担金　56,000 円
・（公財）人権教育啓発推進センター年会費　20,000 円

□効果・達成度

研修会では、県が平成25年度に実施した県民意識調査の結果をもとに、家庭や学校、職場、地域における人権に関わる課題と展望を明らかにすることができました。

成果

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 自治会研修会への参加者数 | 1,300人 | 1,167人 |

□課題・改善

人権教育推進委員を中心に、若い世代の方に自治会単位研修会への参加を呼び掛けていただいた結果、若い世代の参加者が増えましたが、まだ少ない状況です。

自治会単位研修会などへの参加者が、「人権を日々の暮らしの中の何気ない人と人との関わりの中にある身近なもの」と感じられるようになるための工夫や雰囲気づくりを行います。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 6,388,000 | 3,193,196 | | | | 3,193,196 |

| 事業名 | 人権啓発事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 県の「人権文化をすすめる県民運動」の趣旨に基づき実施する人権意識高揚のための啓発事業で、県の補助事業です。<br>人権・青少年健全育成フェスティバルに係る費用と人権啓発冊子作成が主な支出です。 |
| 成果 | ■福崎町人権・青少年健全育成フェスティバル<br>平成26年12月７日（日）　福崎町エルデホール　参加者：309人<br>・体験発表　　小中学生<br>・講演　　演題「１００人の村、あなたもここに生きています」<br>講師：作家・翻訳家　池田香代子<br>・人権啓発資材の配布<br>■人権啓発冊子<br>・「豊かなこころがふれあう活力ある福崎町を目指して」<br>作成・全戸配布　6,500部　387,828円<br>・「元気ＵＰじんけん」　成人式配布　200部　20,000円<br>■啓発ＤＶＤの購入<br>・「あなたに伝えたいこと」　64,800円<br>□効果・達成度<br>多くの方々の人権意識を高め、人権問題に対する理解を深めることができました。<br>□課題・改善<br>多くの方々があらゆる人権問題に関心を持つことができるよう、また、家族間で人権意識を高める会話のきっかけとなるよう、今後も継続してフェスティバルを開催します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 992,000 | 969,845 | 323,000 | | | 646,845 |

| 事業名 | 人権意識高揚（心の教育）活動委託事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 児童・生徒一人一人が、互いの人権を重んじ、あたたかく支え合い、生きがいと希望を持つとともに、子どもたちの自立を促し、「豊かな心と生きる力」を育むことを目的として行った事業です。 |
| 成果 | 子どもたちがその発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるには、多様な機会の提供、効果的な人権学習が必要です。人権学習を含め、地域交流や郷土愛育成等の事業を展開するための各小中学校への委託事業です。<br>□効果・達成度<br>身近な人権課題解決のための学習や地域住民との交流等を通じて、子どもたちの「豊かな心と生きる力」を育むことができました。<br>□課題・改善<br>今後も適正に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,620,000 | 1,488,305 | | | | 1,488,305 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 9.辻川界隈文化振興費 | 42,102,000円 | 41,560,077円 | 541,923円 |

辻川界隈の文化振興及び文化施設の管理・運営に要した経費で、主な事業としては、歴史民俗資料館、柳田國男・松岡家記念館の運営、三木家住宅、辻川山公園の管理、辻川界隈の整備、第35回山桃忌の開催です。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 歴史民俗資料館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 歴史民俗資料館は、旧神崎郡役所の建物（県指定文化財）の保存・公開とともに、郷土神崎郡に関する資料を収集・保存し、一般に公開しています。<br>平成26年度は、「地域の歴史文化を味わおう！」を年間テーマとし、展示活動では、企画展・特別展を開催しました。教育普及活動では、ふくさき歴史体験隊活動・連続講座を実施しました。また、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターとの共同研究成果を企画展や広報等で紹介しました。 |

成果

■展示活動

| 会期 | 名称 | 入館者 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 4月19日～5月31日 | 企画展「蚕のいるくらし」<br>共催：兵庫県立人と自然の博物館 | 2,229人 | 展示点数 約60点 |
| 10月18日～11月24日 | 特別展「福崎の古墳の魅力－よみがえった輝き―」 | 2,762人 | 展示点数 約200点 |
| 3月1日～3月31日 | 企画展「ふるさと再発見」 | 868人 | 展示点数 約30点 |

成果

■特別展　「福崎の古墳の魅力―よみがえった輝き―」

本展は、町指定史跡をはじめとする町内の古墳を、出土遺物をとおして紹介しました。保存処理を行った鉄器や初公開の遺物等を展示し、身近にある古墳の魅力に迫りました。

■資料収集

郷土資料（出土品、古文書、民俗資料、行政資料等）を収集しています。平成26年度は４人の方から古銭や民具等、120 点を寄贈いただきました。

■教育普及活動

・ふくさき歴史体験隊　隊員数 40 人　保護者・地域ボランティア６人

地域の歴史や文化財を活用した活動として、辻川界隈ウォークラリーをはじめ、はにわづくりや郷土の特産物を用いた料理づくり等、ものづくりを通じて知識や経験を学び、指導者やボランティア等、さまざまな年齢層との交流を図ることができました。

・連続講座「地域の歴史文化を味わおう！」

本講座では、播磨の魅力ある話を聞き、郷土の文化財への意識を高め、興味・関心を深めることができました。

| 実施日 | 内容　（演題） | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 5月17日(土) | 文学からみる黒田官兵衛 | 玉田克宏 | 50人 |
| 7月5日(土) | 三木家住宅の歴史<br>―主屋　文化財保存修理の現場から－ | 尾瀬耕司 | 38人 |
| 9月13日(土) | 妙徳山神積寺の縁起と歴史 | 井上　舞 | 53人 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 11月９日(日) | 秘められた古墳の魅力<br>―妙徳山･東広畑･神谷古墳を中心に― | 渡辺　昇 | 46人 |
| ２月7日(土) | 日本の笛と西洋の笛<br>―その比較から見る音楽感性の差異の考察― | 大渡敏仁 | 25人 |

・古文書を読む会を２回行いました。１月24日（土）、１月25日（日）

■「中国音楽アンサンブル」　７月19日（土）出演：姫路中国音楽アンサンブル　参加者73人

■神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター共同研究による広報記事の執筆協力

「風土記シリーズ」を２回、「大庄屋三木家よもやま話」を１回、「松岡五兄弟」を６回掲載しました。

■文化財シンポジウム　11月24日（月・振休）開催、参加者148人

■白アリ駆除業務委託

委託料：140,400円（受託業者：エース消毒㈱）

工　期：平成26年12月25日

■カーテン取替工事

請負代金：266,836円（請負業者：インテリアコトブキ）

工　　期：平成26年５月22日

■女子便所洋式化改修工事

請負代金：241,272円（請負業者：高岡電工㈱）

工　　期：平成27年２月21日～平成27年２月23日

■入館者数　12,949人（平成25年度7,078人、平成24年度7,864人）

□効果・達成度

福崎町にある古墳を再認識する機会として、特別展や講座、古墳めぐりなどを開催しました。また、神戸大学との連携事業においては、三木家や松岡家に関わる調査をすすめ、展示や広報をとおして研究成果を発信しました。

□課題・改善

これまで蓄積された収蔵資料の保管や整理に継続して取り組み、資料の活用が充実するよう努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 5,252,000 | 4,899,353 | | | | 4,899,353 |

| 事業名 | 柳田國男・松岡家記念館運営事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 柳田國男・松岡家記念館は、民俗学の創始者である柳田國男及び松岡家の業績を顕彰し、関連する資料を収集、保存し、柳田國男生家とともに、一般に公開しています。<br>展示活動では、企画展・秋季展を開催しました。「柳田國男とアジア」をテーマとした第35回山桃忌、そして新たな取り組みとして、第１回柳田國男検定を実施しました。教育普及活動では、伊勢大神楽や版画教室、講演会を開催しました。 |

成果

■第35回山桃忌
［１日目］８月２日（土）
「第１部　柳田國男とアジア」参加者：209人
内容：山桃忌・式典
　　辻川鬼太鼓　辻川鬼太鼓保存会
　　基調講演「国際化時代の柳田國男」
　　柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授　石井正己
　　記念講演「韓国から見た柳田國男」　韓国・全南大学校教授　金　容儀
　　シンポジウム「柳田國男のアジア、アジアの柳田國男」
　　コーディネーター：石井正己
　　パネリスト：韓国・全南大学校教授　金　容儀
　　桜美林大学教授　中生勝美
　　大阪大学非常勤講師　王　蘭
　　福崎町立福崎西中学校主幹教諭　中右孝人
［２日目］８月３日（日）
「第２部　柳田國男の見た中国　中国雑技上演」参加者：555人
内容：「柳田國男の見た中国　中国雑技」
　　解説：柳田國男・松岡家記念館顧問、東京学芸大学教授　石井正己
　　「中国伝統芸能の世界～中国雑技（中国獅子舞、孫悟空、壺回、変面ほか）～」上演
■第１回柳田國男検定（初級編）
　実施日：８月３日（日）
　受験者数：177人、合格者数：94人
■展示活動

| 会　期 | 名　　称 | 入館者数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| ４月19日～５月31日 | 企画展「松岡映丘画稿展～映丘が描く説話の世界～」 | 1,937人 | 展示点数 約７点 |
| 10月18日～11月24日 | 秋季展「松岡五兄弟の原点～福崎からたどる軌跡～」 | 2,682人 | 展示点数 約44点 |
| 10月18日～11月24日 | 「福崎町子どもふるさと展」 | 2,682人 | 展示点数 約38点 |
| 11月１日～11月16日 | 福崎町・遠野市友好都市提携記念企画展「遠野物語誕生の地　遠野」 | 1,245人 | 展示点数　約54点 |
| ３月１日～３月31日 | 柳田國男生誕140年企画展「柳田國男の『故郷七十年』」 | 748人 | 展示点数　約20点 |

■秋季展「松岡五兄弟の原点～福崎からたどる軌跡～」
　『故郷七十年』から松岡五兄弟が過ごした福崎での経験を紹介し、その後の軌跡を資料によって紹介しました。また、姫路市立美術館から松岡映丘の本絵５点を借用し展示しました。
　講演会「カマクラの歴史と雪室の地域性について」11月16日（日）講師：後藤麻衣子
　参加者：13人
■資料収集・資料整理
　柳田國男・松岡家ゆかりの資料を収集しています。平成26年度は１人の方から柳田國男著書をはじめとする民俗学関係書籍計36冊を寄贈いただきました。
■教育普及活動
　・伊勢大神楽　11月15日（土）出演：加藤菊太夫　参加者：180人
　・岩田健三郎版画教室　12月７日（日）講師：岩田健三郎　参加者：13人

成果

■第２回福崎町柳田國男ふるさと賞
　柳田國男の顕彰を図るとともに、郷土に愛着と誇りを持ってもらうことを目的として、地域の歴史や民俗文化について優れた調査・研究を行った児童・生徒に対して、この賞を贈りました。
・小学生低中学年の部
　大塚　柚花（田原小学校３年生）作品名「神積寺の開き千年のほうようとご開帳」
・小学生高学年の部
　山本　壮悟（田原小学校５年生）作品名「ぼくのふるさと」
・中学生の部
　安田　千尋（福崎東中学校２年生）作品名「三拾六歌仙扁額」
　山本　柊羽（福崎西中学校２年生）作品名「新町の小字について」
■日本民俗学会研究奨励賞の副賞
　平成26年度受賞作品
「風土病の民俗学－六甲山東麓における『斑状歯』をめぐって－」谷岡優子
■館報「うぶすな」発行（7,000部）
■松岡映丘画稿補修委託
　委託料：186,948円（受託業者：㈱工房レストア）
　作品３点　「鵜越」「山科の宿」その１・その２
■秋季展美術品輸送展示等業務委託
　委託料：186,813円（受託業者：ヤマトロジスティックス㈱）
■柳田國男生家白アリ駆除業務委託
　委託料：64,800円（受託業者：エース消毒㈱）
　工　期：平成26年12月25日
■ブラインド取替工事
　請負代金：206,874円（請負業者：インテリアコトブキ）
　工　　期：平成26年４月23日
■柳田國男生家裏口修理工事
　請負代金：129,600円（請負業者：㈱神田組）
　工　　期：平成27年２月24日～平成27年２月27日
■柳田國男生家火災報知設備配線改修工事
　請負代金：320,760円（請負業者：福崎電業㈱）
　工　　期：平成27年３月12日～平成27年３月13日
■入館者数12,261人（平成25年度7,221人、平成24年度7,808人）

成果

□効果・達成度
　平成26年度、柳田國男検定を創設し、柳田國男をはじめ松岡家の顕彰に重点をおいた事業を行いました。年間を通じては、秋季展、福崎町・遠野市友好都市提携記念企画展、柳田國男生誕140年企画展によって、柳田國男への関心を高めていただける展示を提供できました。
　また、松岡映丘画稿を補修し、資料保全を図りました。秋季展では姫路市立美術館所蔵の本絵とともに展示をしました。
　辻川山公園内に設置された河童見学の相乗効果も高く、来館者は17年ぶりに１万人を超えました。
□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 柳田國男・松岡家記念館入館者数 | 8,000人 | 12,261人 |

□課題・改善
柳田國男・松岡家の功績を知ってもらえる分かりやすい展示や催しを考え、来館者の関心を高められるように努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 8,184,000 | 8,155,223 | | | 167,000 | 7,988,223 |

| 事業名 | 三木家住宅等管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 三木家住宅を活用していくため、臨時公開を行いました。また、植木の管理や屋内の清掃等も行い、維持管理に努めました。三木家住宅屋敷図を補修し、収蔵資料の充実を図りました。 |
| 成果 | ■臨時公開<br>民俗辻広場まつり：平成26年４月26日（土）<br>歩こう大会：平成26年11月23日（日・祝）<br>その他：小学生の見学や辻川界隈観光ボランティアガイドの案内による各種団体の見学<br>■庭園植木等管理業務委託<br>委託料：178,200円（受託業者：㈱前田組）<br>工　期：平成26年５月15日（木）～平成26年９月17日（水）<br>■三木家住宅屋敷図補修業務委託<br>委託料：96,660円（受託業者：㈱工房レストア）<br>工　期：平成27年１月16日（金）～平成27年３月25日（水）<br>□効果・達成度<br>保存修理工事現場を臨時公開し、文化財保護意識を醸成することができました。<br>□課題・改善<br>引き続き積極的な活用に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 832,000 | 779,968 | | | | 779,968 |

| 事業名 | 辻川山公園管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 地元辻川区と共同で辻川山公園周辺の清掃活動を４回実施しました。<br>例年通り公園内の芝生と植木の管理を委託しました。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■地元区との共同清掃活動<br>第１回：平成26年４月19日（土）<br>第２回：平成26年６月21日（土）<br>第３回：平成26年８月30日（土）<br>第４回：平成26年10月25日（土）<br>■芝植木等管理業務委託<br>委託料：334,800円（受託業者：㈱前田組）<br>工　期：平成26年５月15日（木）～平成26年10月31日（金）<br>■借地料<br>福崎町西田原字西廣岡1033番他　390,570円<br>福崎町西田原字西廣岡1029番他　135,880円<br>□効果・達成度<br>辻川山公園周辺及び辻川山の環境美化と安全性向上に努め、良好な施設管理ができました。<br>□課題・改善<br>来訪者に快適に利用していただけるよう、引き続き良好な施設管理に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,497,000 | 2,478,826 | | | | 2,478,826 |

| 事業名 | 辻川界隈文化振興事業【新規】 |
|---|---|
| 事業内容 | 辻川界隈の整備活用について検討するため辻川界隈検討委員会を開催しました。また、辻川界隈において、文化財の保護及び観光振興の見地から、各種団体等が実施する事業に対し補助を行いました。 |
| 成果 | ■辻川界隈検討委員会<br>第１回：平成26年10月20日（月）<br>視察研修：平成27年２月６日（金）　視察先：篠山市・朝来市<br>■辻川界隈活性化事業支援補助金<br>「学問成就の道」啓発のぼり旗設置事業：86,815円（辻川区）<br>■辻川界隈ジオラマ模型制作に向けての意見交換会：平成27年３月４日（水）<br>□効果・達成度<br>辻川界隈検討委員会では、辻川地区まちなみ美化事業を中心に、辻川界隈の整備活用について検討を進めました。辻川区が実施した啓発のぼり旗設置事業により「学問成就の道」の集客力が高まりました。<br>□課題・改善<br>辻川界隈検討委員会を中心として、三木家住宅等の施設管理を担う団体を育成する必要があります。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 383,000 | 308,311 | | | | 308,311 |

| 事業名 | 辻川界隈整備事業【拡充】 |
|---|---|

**事業内容**

県のふるさとづくり推進費補助金を活用し、辻川地区まちなみ美化事業として、銀の馬車道の沿道・周辺地域におけるまちなみの美化を図りました。

平成26年度は、「学問成就の道」遊歩道・「望郷の丘」整備、「学問成就の道」案内標識看板等設置、辻川山公園ため池漏水補修を行い、文化ゾーンの魅力を高める整備を実施しました。

**成果**

■事業一覧

| 事業名 | 事業費(円) | 事業内容 | 金額(円) | 請負者 |
|---|---|---|---|---|
| 「学問成就の道」遊歩道・「望郷の丘」整備工事 | 13,952,520 | 測量設計業務委託 | 1,296,000 | ㈱神崎測量設計 |
| | | 「望郷の丘」整備工事 | 12,250,440 | ㈲上野建材 |
| | | 辻川山樹木伐採等業務委託 | 406,080 | 中はりま森林組合 |
| 「学問成就の道」案内標識看板等設置工事 | 848,664 | 「学問成就の道」案内標識看板設置工事 | 397,224 | イナガワ工芸 |
| | | 「学問成就の道」案内マップ看板等設置工事 | 451,440 | ㈱創美工芸 |
| 辻川山公園ため池漏水補修工事 | 270,000 | 辻川山公園ため池漏水補修工事 | 270,000 | 安井建設 |
| 計 | 15,071,184 | | | |

□効果・達成度

ふるさとづくり推進費補助金を活用し、銀の馬車道周辺地域の施設の整備、景観整備等を実施しました。辻川山を中心に美観が高まり、来訪者も増加傾向にあります。「望郷の丘」整備により、郷土の歌人・岸上大作の顕彰を進めることができました。

□課題・改善

平成27年度も引き続きふるさとづくり推進事業を活用し、辻川界隈の整備を進めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 (単位:円) | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 15,073,000 | 15,071,184 | 7,500,000 | 6,500,000 | | 1,071,184 |

１次評価：　A

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 10.文化財保護費 | 6,927,000円 | 6,645,874円 | 281,126円 |

文化財保護に要した経費で、主な事業は、指定文化財等の助成、埋蔵文化財発掘調査です。

事業内容は次のとおりです

| 事業名 | 文化財保護一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | 町指定文化財保存継承事業助成金を無形文化財継承６団体に交付しました。また、古墳周辺整備事業助成金を古墳４基の管理者に交付しました。<br>神戸大学大学院人文学研究科との地域連携事業では、松岡家に関する資料調査を行い、その成果を広く町民に発信するため、広報でまとめるなど、福崎町の地域歴史遺産掘り起こしに取り組みました。<br>また、文化財審議委員会を組織し、文化財行政について専門的な立場から審議いただきました。<br>主幹・太枝内部の腐朽が進行している町天然記念物イチョウの軽減剪定を行いました。<br>県指定文化財　石造五重塔保存修理工事に補助金を交付しました。 |
| 成果 | ■古墳周辺整備事業助成金：４古墳×10,000円＝40,000円<br>大塚古墳（山崎）・妙徳山古墳（神積寺）・相山古墳（西大貫）・神谷古墳（醫王寺）<br>■民俗文化財保存継承事業助成金：６保存会×30,000円＝180,000円<br>浄舞（熊野神社）・浄舞（余田大歳神社）・追儺（神積寺）・かくしほちょじ（鍛治屋）・法成就講（高橋）・獅子舞（桜）<br>■町天然記念物イチョウ養生委託<br>委託料：329,400円（受託業者：㈱グリーンメンテナンス）<br>処置日：平成26年12月４日（木）<br>■町指定文化財説明看板修理（神谷古墳（新設）・石燈籠・石造五如来坐像・妙徳山古墳）<br>修繕料：126,360円（請負業者：イナガワ工芸）<br>■文化財審議委員会<br>第１回：平成26年７月３日（木）　第２回：平成27年３月19日（木）<br>■県指定文化財　石造五重塔保存修理工事補助金<br>補助金：1,339,000円（補助事業者：(宗) 神積寺）<br>■福崎町文化財保護に関する条例に基づき、神谷古墳を史跡に指定しました。 |

| 名称（所在地） | 員数 | 所有者 | 種別 | 指定年月日 |
|---|---|---|---|---|
| 神　谷　古　墳<br>(高岡1937番地（(宗)醫王寺境内) | １基 | (宗)醫王寺 | 史跡 | 平成26年５月１日 |

□効果・達成度

文化財は、地域の人々が長い歴史の中で大事に守り伝えてきた貴重な財産で、いったん破壊されると復元は難しいものです。平成26年度も引き続き町内の文化財を調査し、神谷古墳を町の史跡に指定しました。

□めざそう値

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 文化財の指定件数 | 45件 | 43件 |

□課題・改善

引き続き町内の文化財の掘り起しに取り組むとともに、地域の住民に文化財の重要性を認識いただくため、文化財に関する展示活動や広報活動を充実させていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,060,000 | 3,904,811 | | | | 3,904,811 |

| 事業名 | 埋蔵文化財発掘調査事業 |
|---|---|

**事業内容**

埋蔵文化財包蔵地内の開発に伴う確認調査を４か所（南田原条里遺構２か所、西広畑遺跡１か所、西広岡遺跡１か所）で行いましたが、いずれも遺構・遺物ともに確認されませんでした。県指定文化財　石造五重塔基壇部下の試掘調査では、中世の土器片や江戸時代に供えられたものと考えられる寛永通宝が見つかりましたが、遺構は確認されませんでした。

東広畑古墳出土遺物の整理作業を行い、埋蔵文化財調査報告書を発行しました。

引き続き、東新田古墳から出土した鉄器類の保存処理を行いました。

**成果**

■試掘・確認調査

| 調　査　名 | 時　代 | 種　類 | 現　状 | 調 査 期 間 | 調査面積 |
|---|---|---|---|---|---|
| 西広畑遺跡第３次（個人住宅建設工事に伴う確認調査） | 弥生・古墳 | 集落跡 | 宅地 | 平成26年４月３日（１日） | １か所 2.2㎡ |
| 南田原条里遺構第24次（店舗新築工事に伴う確認調査） | その他 | その他 | 宅地 | 平成26年６月17・19・20日（２日半） | 15か所 60㎡ |
| 県指定文化財 石造五重塔基壇部下（保存修理工事に伴う試掘調査） | － | － | － | 平成26年９月９・10日（２日間） | １か所 １㎡ |
| 南田原条里遺構第25次（宅地造成工事に伴う確認調査） | その他 | その他 | 休耕田 | 平成26年10月８日（１日） | ４か所 16㎡ |
| 西広岡遺跡第１次（展望場設置工事に伴う確認調査） | 中世 | 散布地 | その他 | 平成26年12月17日（１日） | １か所 6.8㎡ |

■埋蔵文化財調査報告書の発行

書　　名：『東広畑古墳Ⅰ』

発行部数：300 部

印 刷 代：306,072 円

■東新田古墳出土鉄器保存処理委託

委託料：719,712円（受託業者：（公財）元興寺文化財研究所）

工　期：平成26年５月１日（木）～平成27年２月25日（水）

□効果・達成度

東新田古墳出土鉄器の保存処理を行い、歴史民俗資料館の特別展等で成果を発信することによって、住民に広く埋蔵文化財への認識を深めていただくことができました。

□課題・改善

未整理の出土遺物が多数残っており、引き続き保存処理・整理作業を進めていきます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 2,867,000 | 2,741,063 | 1,875,000 | | | 866,063 |

| １次評価： | A |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 5.社会教育費 | 11.三木家住宅保存整備費 | 32,811,000円 | 32,726,381円 | 84,619円 |

県指定文化財三木家住宅の保存修理工事に要した経費です。

平成22年度から始まった保存修理工事は、平成23年度に主屋工事に入り、解体作業を実施しました。平成24年度からは組立工事を行っています。この工事は、兵庫県教育委員会から補助金を受け、１期工事として主屋（表座敷）の修理を進めています。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 三木家住宅保存整備事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 主な支出は、工事の設計及び施工監理の委託費と工事費です。<br>平成26年度は、木部（造作材）の加工組立、下屋瓦葺、荒壁塗り、中塗りの一部、下屋銅板葺の一部、電気電線管・電線の設置、給排水配管・消防用配管の設置を実施しました。 |
| 成果 | ■三木家住宅設計監理業務委託<br>委託料：40,162,500円（平成26年度委託分：7,400,000円）<br>受託業者：神戸建築文化財研究所<br>工　　期：平成23年４月11日（月）～平成28年３月25日（金）<br>■三木家住宅主屋保存修理工事<br>請負代金：170,100,000円（平成26年度請負分：25,100,000円）<br>請負業者：㈱神田組<br>工　　期：平成23年６月14日（火）～平成28年３月25日（金）<br>■工事成果を見ていただくために第５回修理工事現場見学会を開催しました。<br>実施日：平成27年３月14日（土）<br>参加者：約90名<br>□効果・達成度<br>三木家住宅は、辻川界隈のシンボル的存在であり、柳田國男との縁も深く、貴重な文化遺産です。保存修理工事は順調に進んでおり、工事現場見学会の開催を通じて、住民に文化財保存修理工事への理解を深めていただきました。<br>□課題・改善<br>修理工事現場の公開には、安全性確保の課題がともないますが、修理作業と調整しながら、引き続き公開に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 32,811,000 | 32,726,381 | 16,271,000 | 14,600,000 | | 1,855,381 |

⑹　保健体育費

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 1.保健体育総務費 | 21,914,000円 | 21,377,244円 | 536,756円 |

生涯スポーツ事業の振興、推進に尽力されている組織の活動費・助成金等です。その活動により、老若男女を問わず、また多種目において、こころと体の健康づくりとコミュニケーションづくりの場を地域に提供しました。また、スポーツの成績を評価し讃えることで目標を掲げ、だれもが個性や能力を発揮できる環境づくりを進めました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 保健体育総務一般事務費 |
|---|---|
| 事業内容 | スポーツ推進委員 10 人に係る報酬、社会体育全般にわたる事務事業推進のために要した経費です。スポーツ推進委員・普及員が中心となり、町民対象のスポーツ大会等を企画・運営し、生涯スポーツ全般の普及発展を図りました。<br>また、福崎町民または出身者ならびに町内に所在する団体であって、特に競技成績が優秀な個人及び団体に対してスポーツ功績賞を授与しました。 |
| 成果 | ■スポーツ推進委員会を年４回開き、変化する地域住民のニーズに応じた大会の企画や運営方法、健康教室等に関しての審議を行いました。<br>・スポーツ推進委員会　第１回　平成 26 年４月 3 日(木)<br>第２回　平成 26 年８月７日(木)<br>第３回　平成 26 年10月21日(火)<br>第４回　平成 27 年１月 24 日(土)<br>・中播磨スポーツ推進委員研究協議会　平成 26 年６月 22 日（日）　姫路市<br>・兵庫県スポーツ推進委員研究協議会　平成 26 年 10 月 31 日(金)　高砂市<br>・近畿スポーツ推進委員研究協議会　平成 27 年２月６日(金)～７日(土)　奈良県<br>■スポーツ功績賞<br>スポーツ競技で優秀な成績を収めた方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人 13 人を表彰しました。<br>【受賞者一覧】 |

| 氏名 | 所属 | 内容 | 成績 |
|---|---|---|---|
| 小笠原伶奈 | 田原小学校<br>６年生 | 第19回オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦<br>全日本少年少女空手道選手権大会 | 極真空手小学６年生女子の部<br>第４位 |
| 小西　良空 | 高岡小学校<br>１年生 | 文部科学大臣旗　第14回全日本少年少女空手道選手権大会 | 1年男子形　第３位 |
| 常陰　司竜 | 福崎小学校<br>６年生 | 第23回文部科学大臣杯争奪<br>日整全国少年柔道大会 | 柔道団体戦兵庫県代表選抜大将 |
| 吉田　弘道 | 福崎西中学校<br>３年生 | 平成26年度全国中学校体育大会<br>第41回全日本中学校陸上競技選手権大会 | 男子走幅跳<br>出場 |

成果

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石山　歩 | 花園高等学校<br>３年生 | 平成26年度全国高等学校総合体育大会<br>秩父宮賜杯第67回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 | 砲丸投　優勝<br>円盤投　優勝<br>やり投　２位 |
| 吉識　公陽 | 姫路工業高等学校<br>２年生 | 平成26年度全国高等学校総合体育大会<br>男子バレーボール競技大会 | 男子バレーボール競技　出場 |
| 勇内　塁揮 | 姫路商業高等学校<br>３年生 | 平成26年度全国高等学校総合体育大会　第82回日本高等学校選手権水泳競技大会 | 男子400mメドレーリレー（第1泳　背泳ぎ）出場 |
| 白石　望美 | 兵庫大学付属須磨ノ浦高等学校<br>２年生 | 平成26年度全国高等学校総合体育大会　第66回全日本高等学校女子ソフトボール選手権大会 | 女子ソフトボール競技　第３位 |
| 岡本　開登 | 市川高等学校<br>３年生 | 平成26年度全国高等学校総合体育大会　第82回日本高等学校選手権水泳競技大会 | 男子400mフリーリレー　出場 |
| 佐伯　勇武 | 須磨学園高等学校<br>１年生 | 東日本大震災復興支援　第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」 | 水泳競技　男子少年Ｂ400mフリーリレー　優勝 |
| 牛尾　祐貴 | 田原スポーツクラブ<br>（神戸村野工業高等学校） | 東日本大震災復興支援　第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」 | バドミントン競技少年男子の部出場 |
| 藤井　翔平 | 姫路特別支援高等学校<br>３年生 | 東日本大震災復興支援　第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」 | 陸上競技100m・200m・4×100mリレー出場 |
| 谷口　太一 | 神崎高等学校<br>３年生 | 平成25年度全国高等学校選抜自転車競技大会 | スクラッチ　個人ロードレース出場 |

■スポーツ功労賞

福崎町のスポーツ振興並びに発展に功績顕著な方をスポーツ功績賞審査委員会で審議し、個人４人を表彰しました。

【受賞者一覧】

| 氏名 | 所属 | 内容 |
|---|---|---|
| 宮下　博 | スポーツ推進委員会 | 長年にわたり福崎町の生涯スポーツの普及発展に貢献 |
| 中塚　幹男 | スポーツ推進委員会 | 長年にわたり福崎町の生涯スポーツの普及発展に貢献 |
| 難波　靖通 | 福崎町体育協会 | 長年にわたり福崎町のスポーツ振興の普及発展に貢献 |
| 志水　良晴 | 福崎スポーツクラブ連合 | 長年にわたり福崎町の地域スポーツの普及発展に貢献 |

□効果・達成度

スポーツ推進委員の資質向上・社会体育活動の情報入手等により、福崎町の生涯スポーツ普及発展に大きく成果をあげています。

多様なスポーツ種目において全国で活躍する選手が増え、他の選手の励みになっています。

□課題・改善

スポーツ推進委員を１人増員し、スポーツ大会等の運営に係る委員の負担を軽減しました。健康分野において、推進委員個々の能力を生かし活動を広めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,512,000 | 1,449,329 | | | | 1,449,329 |

| 事業名 | 町体育協会等育成事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 福崎町体育協会の運営及び体育協会加盟団体（17 団体）の活動と福崎町スポーツ少年団に対し、財政的な補助を行いました。体育協会では、秋まつり協賛事業で子ども向けゲーム（ラインで碁！）、グラウンドゴルフ大会を企画・運営しました。 |

成果

体育協会が主催する大会・教室等で参加者への負担軽減、また備品購入等の補助を行うことにより、運営が円滑に行われました。また、スポーツ少年団への補助を行い、青少年の体力・競技力向上に成果をあげました。

■平成 26 年度　福崎町体育協会加盟団体一覧

H27. 3. 31 現在

| 団体名 | 会長名 | 会員数（人） | 団体名 | 会長名 | 会員数（人） |
|---|---|---|---|---|---|
| スキー協会 | 安井利夫 | 43 | 卓球協会 | 髙松繁樹 | 19 |
| 庭球協会 | 佐伯武彦 | 18 | 野球協会 | 中塚幹男 | 64 |
| ゲートボール協会 | 尾崎慶三 | 36 | バレーボール協会 | 能瀬　林 | 24 |
| 陸上競技協会 | 岩﨑文治 | 25 | 水泳協会 | 三輪和幸 | 24 |
| 少林寺拳法協会 | 生田久人 | 20 | 山の会協会 | 内藤　守 | 88 |
| 柔道協会 | 難波弘一 | 40 | ソフトボール協会 | 橋本和正 | 315 |
| 合氣道協会 | 羽室研二 | 214 | グラウンドゴルフ協会 | 旭　義春 | 221 |
| ソフトバレーボール協会 | 米田　泉 | 65 | ゴルフ協会 | 北山孝彦(代行) | 8 |
| 剣道協会 | 上田亮一 | 31 | 合計 | | 1,255 |

■平成26年度　福崎町体育協会決算書

| 歳入 | | | 歳出 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 金額（円） | 備考 | 項目 | 金額（円） | 備考 |
| 会費 | 34,000 | 加盟協会から @2,000×17 | 事業費 | 1,692,708 | 加盟協会助成金 大会賞品等 |
| 補助金 | 1,744,000 | 町補助金 | 事務費 | 58,406 | 事務用品他 |
| 繰越金 | 600,634 | 前年度繰越 | 旅費 | 32,260 | 東京出張旅費 |
| 事業収入 | 23,700 | 大会参加料 | 予備費 | 0 | |
| 雑入 | 124 | 利息・戻入 | | | |
| 合計 | 2,402,458 | | 合計 | 1,783,374 | |

歳入歳出差引額　619,084円（平成27年度へ繰越）

■平成26年度　福崎町スポーツ少年団決算書

| 歳入 | | | 歳出 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 金額（円） | 備考 | 項目 | 金額（円） | 備考 |
| 会費 | 45,000 | 加盟団から @1,000×45 | 登録費 | 41,700 | 県登録料他 |
| 補助金 | 50,000 | 町補助金 | 事業費 | 60,000 | 大会補助金 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 繰越金 | 17,208 | 前年度繰越金 | 事務費 | 2,691 | 郵便料他 |
| 雑入 | 19 | 利息 | 会議費 | 774 | 賄代 |
| | | | 予備費 | 2,160 | 記念式典会費 |
| 合計 | 112,227 | | 合計 | 107,325 | |

歳入歳出差引額　4,902 円（平成 27 年度へ繰越）

成果

□効果・達成度

競技スポーツのみならず、ニュースポーツを含む17協会と多くのスポーツ種目が活動し、町民のスポーツ活動の活性化に寄与しています。

□課題・改善

子どものスポーツ離れ・指導者不足等が課題となっています。総合型地域スポーツクラブと連携して、スポーツ拠点を増やし、多くの人がスポーツ活動を行うことができるよう努めます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,794,000 | 1,794,000 | | | | 1,794,000 |

| 事業名 | 子ども会運営事業 |
|---|---|

事業内容

子どもたちの福祉増進のため、町内子ども会相互の連携と活動の充実を図り、各種行事に取り組みました。主な行事としては、子どもたちの健全な身体と協調精神の向上を目的として、町球技大会を実施しました。

また、子どもたちの情操教育の一環として、思考力、判断力、決断力のかん養を図る目的で、町少年少女将棋大会を開催しました。

成果

■町球技大会の結果：平成26年７月12日（土）　場所　福崎小学校

| 部門 | 優勝 | 準優勝 | ３位 |
|---|---|---|---|
| ソフトボール | 大門 | 西治・西谷 | 駅前 |
| バレーボール | 山崎 | 馬田 | 井ノ北 |

優勝、準優勝チームは平成26年８月２日（土）に神河町で開催された神崎郡子ども会球技大会に出場し、ソフトボールの部において大門子ども会が優勝、西治・西谷子ども会が準優勝に輝く活躍を見せました。

■町少年少女将棋大会：平成26年12月14日（日）　場所：福崎町文化センター

参加者

| | |
|---|---|
| 小学校低学年の部 | １人 |
| 小学校高学年の部 | ８人 |

■神崎郡オセロ大会：平成26年９月７日(日)　場所：神河町健康福祉センター

参加者（福崎町からの参加者）

| | |
|---|---|
| 小学校低学年の部 | 14人 |
| 小学校高学年の部 | 11人 |

□効果・達成度

各種行事を通して、子どもたちの身体的・精神的な向上を図るとともに、子ども・保護者ともに地域での交流を促進することができました。

□課題・改善

町の将棋大会の参加者を増やすため、地域人材を活用した将棋の普及や広報活動に努めていきます。また、球技大会練習時のケガを少なくするために安全教育に努めます。

| 予　算　額 | 決　算　額 | 財　源　内　訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地　方　債 | そ　の　他 | 一 般 財 源 |
| 2,050,000 | 1,851,838 | | | | 1,851,838 |

１次評価：　B

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 2.給食運営費 | 206,296,000 円 | 206,050,503 円 | 245,497 円 |

学校給食のねらいは、毎日を健康でいきいきと生活できるようにするために、食事、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけることの大切さを伝えることにあります。また、給食をみんなで一緒に楽しく「食べる」体験を通じて望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てる場となり、心身ともに成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上に大きな役割を担っています。

一方、児童生徒の食生活をとりまく社会環境の大きな変化により、偏った栄養摂取、肥満等の生活習慣病の増加など、食に起因する様々な問題が発生しています。給食センターでは、「福崎町食育推進計画」に基づき、栄養のバランスのとれた給食を提供することで、福崎町の将来を担う子どもたちの健康を守るとともに、学校給食を生きた教材として活用した食育推進に取り組みました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 給食センター管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 平成26年度においても、各作業場に設置した６台のテレビカメラシステムを活用し、調理現場における安全衛生管理を行いました。また、カメラで記録された調理作業や洗浄作業の様子は、園児や小学生の施設見学時や各種団体の試食会の際にテレビ画面で再生し、福崎町の安全安心な給食づくりの実態を広くＰＲしました。<br>給食の試食会については、21回（延人数309人）受け入れました。施設見学については、11団体（延人数351人）を受け入れました。また、焼き物調理機は、旧センターから移設したもので、14年が経過し、業務に支障をきたすため更新しました。<br>給食費の滞納問題については、滞納整理対策委員会の方針に基づき、関係課職員が情報を共有し、連携して合同徴収を行うことで、効率よく徴収率アップを図りました。また、教育委員会・学校等関係機関の連携・協力により、現年度給食費の滞納額の減少に努めました。 |
| 成果 | ■収入状況<br>（単位：円） |

| 年度 | 区分 | 調定額 | 収納額 | 不納欠損額 | 滞納額 | 徴収率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 現年度 | 91,348,173 | 91,340,173 | 0 | 8,000 | 100.0 |
| | 過年度 | 2,019,379 | 390,564 | 25,000 | 1,603,815 | 19.3 |
| | 計 | 93,367,552 | 91,730,737 | 25,000 | 1,611,815 | 98.2 |
| 25 | 現年度 | 91,658,946 | 91,588,346 | 8,000 | 62,600 | 99.9 |
| | 過年度 | 2,247,063 | 256,284 | 34,000 | 1,956,779 | 11.4 |
| | 計 | 93,906,009 | 91,844,630 | 42,000 | 2,019,379 | 97.8 |

「福崎町債権管理条例」に基づき、速やかな滞納整理事務を進め、滞納額のうち、生活困窮１件の不納欠損処分（25,000円）を行いました。

成果

■支出状況

平成 15 年６月から供用開始した、給食センターの厨房機器等も耐用年数の経過で消耗部品に不具合が生じ、給食センター管理事業での修繕料を 5,219,712 円支出しました。その主なものは、食器整理装置（タッチパネル）取替工事一式 500,688 円、洗浄室空調ダクト工事一式 470,880 円です。また、平成 11 年 12 月から使用している焼き物調理機の不具合も生じ、5 年間リース契約により入替工事を行いました。

■学校給食費　調定額及び収入状況　（H27.5.31 現在）

（単位：円）

| 学校または施設名 | 調定額 | | 収入済額 | | 不納欠損額 | | 収入未済額 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 現年度 | 過年度 | 現年度 | 過年度 | 現年度 | 過年度 | 現年度 | 過年度 |
| 福崎小 | 18,939,669 | 743,059 | 18,939,669 | 196,919 | 0 | 0 | 0 | 546,140 |
| 高岡小 | 3,901,847 | 0 | 3,893,847 | 0 | 0 | 0 | 8,000 | 0 |
| 田原小 | 22,559,392 | 467,543 | 22,559,392 | 64,030 | 0 | 0 | 0 | 403,513 |
| 八千種小 | 8,259,461 | 0 | 8,259,461 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 53,660,369 | 1,210,602 | 53,652,369 | 260,949 | 0 | 0 | 8,000 | 949,653 |
| 西中 | 13,231,512 | 663,514 | 13,231,512 | 116,599 | 0 | 0 | 0 | 546,915 |
| 東中 | 18,818,654 | 92,583 | 18,818,654 | 13,016 | 0 | 0 | 0 | 79,567 |
| 計 | 32,050,166 | 756,097 | 32,050,166 | 129,615 | 0 | 0 | 0 | 626,482 |
| 福崎幼 | 958,400 | 25,000 | 958,400 | 0 | 0 | 25,000 | 0 | 0 |
| 高岡幼 | 331,600 | 0 | 331,600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 田原幼 | 533,450 | 27,680 | 533,450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27,680 |
| 八千種幼 | 367,952 | 0 | 367,952 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 2,191,402 | 52,680 | 2,191,402 | 0 | 0 | 25,000 | 0 | 27,680 |
| 給食ｾﾝﾀｰ職員 | 612,286 | 0 | 612,286 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 保育所職員 | 2,833,950 | 0 | 2,833,950 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 3,446,236 | 0 | 3,446,236 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 91,348,173 | 2,019,379 | 91,340,173 | 390,564 | 0 | 25,000 | 8,000 | 1,603,815 |

□効果・達成度

町広報の食育通信や給食だより等でＰＲし、見学受け入れを呼びかけることにより、町内全幼児園・保育所からの見学がありました。見学を通じて、給食センターで働く人々に感謝し、好き嫌いせず・残さず食べるように意識付けができました。行政、学校、ＰＴＡ等関係機関の連携と協力により現年度給食費の目標徴収率より 0.1%以上アップの 99.99%が達成できました。

□課題・改善

今後、過年度滞納分の給食費についても徴収体制の確立・臨戸訪問強化を行い、徴収率アップにつなげていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 16,825,000 | 16,726,022 | | | | 16,726,022 |

| 事業名 | 給食センター給食事業 |
|---|---|

**事業内容**

学校給食に使用する食材発注に際しては、産地確認や情報収集をしっかりと行い、厳選した食材で調理し、安全安心な給食の提供に努めました。主に県内産食材を優先して使用し、歳時記に合わせた献立や果物、デザート等から季節を感じてもらえるように工夫しました。特に生活習慣病の予防にも大切な「豆・ごま・海藻・野菜・魚・きのこ類・いも類」を献立に多く取り入れたり、「福崎町食育推進計画」に基づき、安全安心な地域の食材をできるだけ多く給食に取り入れました。また、福崎町の特産物である「もち麦」に親しみ、家庭でも活用してもらえるように、給食においても、もちむぎ麺やもちむぎ精麦を使用した献立を積極的に取り入れたり、業者との連携により、もちむぎ粉 100%の焼き菓子の開発にも取り組み「もちむぎケーキ」として給食に使用しました。そうした福崎町の給食をＰＲするために、毎月発行する「給食だより」の中で詳しく紹介し、児童生徒及びその家庭に伝えたり、職員対象の給食試食会を学期に１回、年３回実施し職員にもＰＲしました。

一日平均給食供給人員 2,580 人に対して、小学校年間 180 日、中学校年間 177 日、幼稚園年間 165 日、保育所年間 272 日の給食を提供しました。給食のべ人員は、503,060 人でした。

**成果**

■給食センター給食事業での主な支出は、給食原材料費で 92,180,196 円です。

給食原材料費内訳

（単位：円）

| | 金　　額 |
|---|---|
| 副　食　費 | 53,865,272 |
| 米　飯　代 | 16,606,669 |
| パ　ン　代 | 3,675,855 |
| 牛　乳　代 | 18,032,400 |
| 計 | 92,180,196 |

■地産地消の取り組み

・「福崎町食育推進計画」の中の「地産地消と食文化の継承」に基づき、給食センターでは、平成 26 年度の地元野菜目標使用率（重量ベース）を 18%と定め、農林振興課と連携し、生産者の協力を得ながら地産地消に取り組みました。平成 26 年度の使用野菜品目数は 17 品目で、平成 25 年度より３品目増えました。全体使用料から見ると 16.2%で目標には及びませんでしたが、平成 25 年度より使用量も増え 4.8%アップしました。福崎町産の米、もち麦粉、もちむぎ精麦を加えると、給食における地産地消率は 38.0%となり、平成 25 年度よりも 4.8%増えました。また、７月には「福崎町産夏野菜カレー」、12 月には「福崎町産冬野菜シチュー」を実施し、福崎町産の野菜を中心に使用した給食で地産地消をＰＲしました。

全体野菜使用量 61,912kg のうち、地場産野菜使用量は 10,016kg でした。（使用率＝16.2%）その主な野菜は、たまねぎ 2,986kg、にんじん 1,237kg、じゃがいも 2,111kg、さつまいも 763kg、大根 909kg、白菜 876kg です。

・福崎町特産「もち麦」の使用促進については、週 1 回のパン給食の日には、もちむぎ粉を 10%ブレンドした「もちむぎコッペパン」、週 4 回のご飯給食の日のうち、毎週水曜日には、もちむぎ精麦を８%ブレンドした「もちむぎご飯」を提供しました。また、汁物に「かやくもちむぎ麺」を取り入れる回数を増やしたり、毎年リクエストが多く好評である「冷やしもちむぎ麺給食」を運動会シーズンに実施して、もち麦の使用を増やしました。

| | |
|---|---|
| 成果 | □効果・達成度<br>　給食にもち麦を積極的に取り入れることで児童・生徒にもち麦に親しみをもってもらうことができ、給食だより等でもち麦の良さを広く情報発信することにより、家庭でももち麦を広く活用してもらえるようＰＲできました。<br>□課題・改善<br>　地元生産者等との連絡を密にし、ほ場巡回の回数を増やし、野菜の収穫時期に合わせた献立計画を作成して、給食に福崎町産の野菜の取り入れを増やす努力をしていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳　（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 123,483,000 | 123,461,768 | | | 91,730,737 | 31,731,031 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 3.町民グランド管理費 | 3,617,000円 | 3,596,254円 | 20,746円 |

町民グランドは、町民が生涯を通して健康で充実した生きがいのある生活を送るために、町民の健康づくりとスポーツ活動を行う生涯スポーツの場として利用されています。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 町民グランド管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町民グランドの施設管理に係る費用で、夜間照明の電気代、草刈り等賃金、清掃及び電気管理委託料、施設の修繕等に要した経費です。 |
| 成果 | ■施設修繕工事を行い、スポーツがより快適に活動できる場を提供しました。<br>・第１グランドナイター照明灯ランプ安定器取替工事　299,916円（請負業者：福崎電業㈱）<br>・第１グランドナイター照明灯安定器取替工事　293,760円（請負業者：福崎電業㈱）<br>・第１グランド側溝修繕工事　150,000円（請負業者：㈱松本組）<br>■施設を安全に使用するために、点検・掃除等の委託を行いました。<br>・清掃委託料　173,768円（請負業者：(公社)中播広域シルバー人材センター）<br>・電気設備管理委託料　119,600円（請負業者：小國電気設備管理事務所）<br>□効果・達成度<br>第１グランドでは、照明灯安定器の取替えを行い、より快適に夜間のスポーツ活動を行える環境を整備しました。第２グランドでは、グラウンドゴルフを中心に多くの利用がありました。<br>□めざそう値 |

| 第５次総合計画めざそう値 | 目標（H30年度） | 実績（H26年度） |
|---|---|---|
| 社会体育施設利用者数※ | 90,000人 | 102,674人 |

※町民グランド利用者、スポーツ公園利用者、体育館利用者の合計人数

□課題・改善

第１グランドは、表層部の真土が雨による流出や飛散により、傷みが目立ってきました。また、雨天時には水はけが悪く、使用が制限されることもあるため、利用者がより安全で快適に利用できるよう全面的な土の入れ替え、整備の必要があります。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,617,000 | 3,596,254 | | | 462,970 | 3,133,284 |

| １次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 4.スポーツ公園管理費 | 8,016,000円 | 7,705,738円 | 310,262円 |

スポーツ公園は、体力の向上、健康の保持増進を図るとともに、人と人のコミュニケーションを深める場として、テニスコート・ソフトボール場・ゲートボール場・第２体育館と多種多様なスポーツ競技に対応できる施設です。平成26年度も多くの方が総合的なスポーツ活動の場として利用されました。

主な事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | スポーツ公園管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | スポーツ公園の施設管理に係る費用で、電気代、各種委託料（清掃、警備、電気設備及び芝生管理）、施設修繕等に要した経費です。 |
| 成果 | ■施設修繕工事を行い、より快適にスポーツ活動ができる場を提供しました。<br>・テニスコート用照明自動点灯盤取替工事　2,494,800円（請負業者：福崎電業㈱）<br>・調整池補修工事　226,800円（請負業者：安井建設）<br>・公園内時計修理　142,020円（請負業者：福崎電業㈱）<br>■施設器具修繕を行い、より快適にスポーツ活動ができる環境を整えました。<br>・テニスコートネット修理費　79,056円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）<br>■施設を安全に使用するために、点検・掃除等の委託を行いました。<br>・警備委託料　309,744円（請負業者：セコム㈱加西営業所）<br>・芝生管理委託料　583,200円（請負業者：宮下造園土木）<br>・電気設備管理委託料　149,160円（請負業者：(一財)関西電気保安協会）<br>・清掃委託料　27,000円（請負業者：㈲カワバタ商会）<br>□効果・達成度<br>多くの利用者に活動の場を提供することで、住民の体力向上・健康増進、併せてコミュニティの育成に貢献することができました。<br>□課題・改善<br>ゲートボール場が調整池となっているためにゲリラ豪雨や台風時には土砂が流れ込み、維持に負担がかかります。今後のゲートボール場の活用方法及び改修について考える余地があります。<br>年数経過によるテニスコートの劣化により、今後大改修の必要性が生じています。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 7,016,000 | 6,728,738 | | | 1,383,880 | 5,344,858 |

| 1次評価： | B |
|---|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 5.学校施設社会開放費 | 812,000円 | 739,992円 | 72,008円 |

生涯スポーツを推進するため、また、町民のスポーツの場を広げるため、学校施設の社会開放を行い、ナイター設備の維持に努めました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 学校施設社会開放事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 町内の小・中学校の運動施設（体育館・グランド）の積極的な開放を行い、地域住民のスポーツ振興に努めました。<br>主な支出は、学校施設開放に係る電気代、水道代、施設修繕費です。 |

成果

■学校施設社会開放　学校別集計表

| | | 福崎小 | 高岡小 | 田原小 | 八千種小 | 西　中 | 東　中 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 体育館 | 使用回数（回） | 377 | 290 | 336 | 315 | 237 | 314 | 1,869 |
| | 使用人数（人） | 6,696 | 6,950 | 12,232 | 11,822 | 4,760 | 8,913 | 51,373 |
| | 使用料（円） | 91,660 | 0 | 77,310 | 83,080 | 194,840 | 148,990 | 595,880 |
| グランド | 使用回数（回） | 118 | 195 | 7 | 309 | 9 | 14 | 652 |
| | 使用人数（人） | 3,785 | 6,074 | 2,290 | 11,960 | 1,500 | 3,695 | 29,304 |
| | 使用料（円） | 0 | 0 | 4,240 | 156,050 | 4,120 | 4,120 | 168,530 |

■施設の修繕

・八千種小学校グランド内倉庫扉修繕　5,400円（請負業者：高岡電工㈱）

□効果・達成度

町内外のスポーツクラブやサークル等の団体に対し、学校施設を開放することにより、地域に根付いた身近な生涯スポーツ・生涯学習の活動の場と機会を提供しました。スポーツクラブ４団体や子ども会のほか、一般の団体が継続的に利用しており、学校施設の開放事業が広く地域住民に浸透しています。このように、多くの団体に活動の場を提供することで、地域住民の体力向上・健康増進、併せて地域コミュニティの育成にも貢献することができました。

□課題・改善

授業等に支障がないよう、学校とも十分連携をとって、適正な管理に努めていきます。また、田原小学校体育館建設工事期間中は学校施設の開放事業を効率よく行い、地域住民のスポーツ振興に努めていきます。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 812,000 | 739,992 | | | 739,992 | |

１次評価：　B

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 繰越明許費 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 6.体育館運営費 | 107,652,000円 | 8,319,576円 | 91,160,000円 | 8,172,424円 |

社会体育の拠点となり、生涯スポーツを中心として、各年代層にあったスポーツを選択できるよう、年間を通じて様々な教室・大会を開催しました。また、キャンプ等をとおして青少年の健全育成に努め、成人の体力づくりはもちろんのこと、人と人の交流を深める場として日常生活の中にスポーツを取り入れられるよう努めました。

なお、体育館東側の文化ゾーン駐車場整備については平成26年度に実施設計を行い、土地購入費については繰越明許費として翌年度に繰り越しました。

事業内容は、次のとおりです。

| 事業名 | 町民体育館管理事業 |
|---|---|
| 事業内容 | スポーツ振興・体力づくりのために開催しているスポーツ大会・教室の運営に要した経費、また、スポーツする場を提供するための施設・器具の修繕・点検、体育備品の購入に要した経費です。主な支出は、アルバイト事務賃金、各種謝礼、電気代、各種委託料、体育備品購入、体育施設・器具の修繕等です。 |

成果

■器具を安全・快適に使用できるように修理を行いました。

・トレーニング器具修繕　58,000円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）

・体育室トランポリンゴム交換　72,000円（請負業者：㈲福崎堂運動具店）

（単位：人）

| 年度 | 球技室 | 体育室 | 卓球室 | ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室 | 第２体育館 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 24年度 | 11,031 | 6,856 | 4,263 | 7,585 | 6,862 | 36,597 |
| 25年度 | 10,856 | 5,893 | 4,043 | 7,218 | 6,619 | 34,629 |
| 26年度 | 12,723 | 6,109 | 4,008 | 8,845 | 8,175 | 39,860 |

■トレーニング器具・体組成計・バレーボールネット等を新しく購入し、スポーツ活動の充実に努めました。

・トレーニング器具（腹筋台等）　465,480円

・周波数体組成計　237,600円

・バレーボールネット　113,800 円

■各種大会を開催し、町民の健康づくり・コミュニケーションづくりに貢献しました。

| 大会名 | 期日 | 場所 | 対象 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 第26回ﾏｽﾀｰｽﾞｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ大会 | 4/13 | 第１グランド | １ﾁｰﾑ360歳以上で編成 | 6ﾁｰﾑ |
| 町民親善ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会 | 5/10 | 第１グランド | 誰でも可 | 50ﾁｰﾑ |
| 山菜ハイキング | 5/24 | 鉢伏高原 | 誰でも可 | 49人 |
| カヌー教室 | 6/29 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4年生～一般 | 19人 |
| ふれあいワンデー生活塾 | 7/19 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学1～3年生 | 47人 |
| アウトドア生活塾① | 7/26～27 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4～6年生 | 39人 |
| アウトドア生活塾② | 8/16～17 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4～6年生 | 14人 |
| カヌー教室 | 8/9 | 野外活動ｾﾝﾀｰ | 町内小学4年生～一般 | 8人 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 自治会親善ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ大会 | 8/18～22 | 第１グランド他 | 自治会でﾁｰﾑを編成 | 31ﾁｰﾑ |
| 地域職域ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ大会 | 10/26 | 第１グランド他 | 町内在住在勤者 | 11ﾁｰﾑ |
| 昔の遊びに挑戦 | 27/1/24 | 第１体育館 | 町内小学生及び保護者 | 33組 |

■スポーツ講習会を開催し、健康づくりや町民の体力維持増進に努めました。

| 講習会名 | 期日 | 場所 | 対象 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| ﾎﾟｰﾙｳｫｰｷﾝｸﾞ講習会 | 木曜日（5,6,1,2,3月） | スポーツ公園他 | 誰でも可 | 36人 |
| 健康ピンポン講習会 | 12/3,12/10,12/17 | 第一体育館卓球室 | 誰でも可 | 20人 |

■健康・スポーツ教室を開催し、健康づくりやスポーツ活動の普及に努めました。

| 教室名 | 対象 | 曜日 | 時間 | １期 | ２期 | ３期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| リフレッシュ体操 | 一般女性 | 火曜日 | 10:00～11:45 | 38人 | 36人 | 36人 |
| 貯筋クラブ | 65歳以上 | 水曜日 | 9:30～11:00 | 16人 | 16人 | 16人 |
| 朝のフィットネス教室 | 誰でも可 | 水曜日 | 10:15～11:45 | 17人 | 14人 | 17人 |
| 夜のフィットネス教室 | 誰でも可 | 木曜日 | 18:00～19:30 | 16人 | 14人 | 14人 |
| 健康ソフトバレー教室 | 一般女性 | 金曜日 | 10:00～11:45 | 30人 | 32人 | 29人 |
| にこにこスポーツ教室 | 誰でも可 | 木曜日 | 13:30～15:00 | 16人 | | |
| いきいき教室 | 誰でも可 | 火曜日 | 13:30～15:00 | 18人 | | |

成果

□効果・達成度

行事や教室を通じて、健康づくりや地域のコミュニケーションの場を提供することができました。また新たなスポーツ講習会を増やすことで、より多くの住民にスポーツ活動の楽しさを周知できました。

□課題・改善

行事や教室を催すにあたり、参加者が安全に楽しく参加できるよう運営形態や指導方法等に留意していきます。耐震補強の施設補修が必要となってきています。今後はさるびあドームを利用したスポーツイベントの開催を考えています。

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 97,120,000 | 5,675,576 | | | 1,977,970 | 3,697,606 |

| 事業名 | 地域スポーツ奨励事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 地域の健康づくり、コミュニケーションづくりのために各自治会で行う運動会や各種スポーツイベントの運営に係る費用の補助、地域スポーツクラブの活動に係る電気代及び県主催大会の出場に要する経費です。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■スポーツクラブの活動に係る電気代として各学校に支払い、負担を軽減しました。<br>・福崎小学校へ　60,000 円<br>・田原小学校へ　60,000 円<br>・高岡小学校へ　36,000 円<br>・八千種小学校へ　60,000 円<br>・福崎東中学校へ　36,000 円<br>■スポーツクラブ連合補助金を支給しました。<br>・スポーツクラブ連合補助金　50,000 円 |
| 成果 | □効果・達成度<br>スポーツクラブへ支援することにより、地元校区で気軽にスポーツをできる環境づくりができました。<br>□課題・改善<br>スポーツクラブの会員数が減少傾向にあります。町体育館と連携を深め、地域スポーツの活性化に努めていきます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 532,000 | 322,000 | | | | 322,000 |

| 事業名 | 避難所等整備事業【新規】 |
|---|---|
| 事業内容 | 町民第１体育館耐震改修工事等実施設計委託及び体育館東側の文化ゾーン駐車場を整備するために要した費用です。 |
| 成果 | ■体育館東側文化ゾーン駐車場整備事業の測量設計を委託しました。<br>・文化ゾーン駐車場整備事業測量設計業務委託　2,322,000 円（契約者：㈲平成開発設計福崎支店）<br>□効果・達成度<br>町民第１体育館耐震改修工事等実施設計については、㈱一級建築事務所小田設計事務所との契約締結（契約金額 5,616,000 円）後、業務不履行により契約を解除しました。<br>□課題・改善<br>今回のような業務委託の契約解除事例の再発を防ぐため、業者選定に際して入札参加願の記載事項だけでなく、近隣市町と情報交換をはかるなど入札参加者の能力の把握に努めます。また、業務着手後の実施にあたっては、工程管理・進捗状況の把握を含め、契約者との打ち合わせを密に進めて業務管理の精度向上に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,000,000 | 2,322,000 | | 2,300,000 | | 22,000 |

| 1次評価： A |
|---|

| 項 | 目 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 |
|---|---|---|---|---|
| 6.保健体育費 | 7.多目的グランド整備費 | 491,700,000円 | 491,686,424円 | 13,576円 |

図書館南側の町有地及び西治ほ場整備事業にかかる創設換地に、社会体育拠点と防災拠点の機能を備えた（仮称）多目的公園を整備するために要した費用です。

兵庫県産の木材を主構造とする、さるびあドームを中心とした公共施設を整備しました。

グラウンドゴルフやスポーツ講習会をはじめ各種イベント会場として多目的に活用できる施設です。芝生広場には福崎町キャラクターのツノっち一複合遊具を設置し、ドーム東側にはスケートボード場及びボルダリング場を整備し、より幅広い年代の方に親しまれる施設となるよう配慮しました。

事業内容は次のとおりです。

| 事業名 | 多目的グランド整備事業【平成25年度からの繰越】 |
|---|---|
| 事業内容 | 図書館南側の町有地及び西治ほ場整備事業にかかる創設換地の有効活用を図るため、町民のニーズの高い全天候型ドームや災害時における防災拠点機能を備えた公園の整備に要した費用です。 |
| 成果 | 平成25年度から繰越<br>■（仮称）福崎町多目的公園整備工事の監理業務及び実施設計業務を委託しました。<br>・（仮称）多目的公園整備工事監理業務委託　4,752,000円（契約者：㈱ケイ設計）<br>・（仮称）多目的公園整備工事実施設計業務委託 6,890,400円（契約者：㈱ケイ設計）<br>■（仮称）福崎町多目的公園整備工事を実施しました。<br>・（仮称）多目的公園整備工事　338,980,000円（契約者：前川建設㈱）<br>■事務用備品等を購入し、スポーツイベント活動が可能な環境を整備しました。<br>・長机（50台）　442,800円（契約者：㈱くれよん）<br>□効果・達成度<br>野外イベント・各種大会等が多く開催され、広く町民に利用される施設を建設しました。また、多目的ドームの愛称募集により、「さるびあドーム」と命名されました。<br>□課題・改善<br>町民が安全で快適にスポーツ活動を行える場を提供し、さるびあドームを利用した各種スポーツイベントの企画・運営を行います。また、地域振興の観点から、多様な活用を推進します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 351,600,000 | 351,600,000 | 180,000,000 | 159,500,000 | 12,100,000 | |

| 事業名 | 多目的グランド整備事業 |
|---|---|
| 事業内容 | 図書館南側の町有地及び西治ほ場整備事業にかかる創設換地の有効活用を図るため、町民のニーズの高い全天候型ドームや災害時における防災拠点機能を備えた公園の整備に要した費用です。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■（仮称）福崎町多目的公園非常用電源設置工事の実施設計業務を委託しました。<br>・非常用電源設置工事実施設計業務委託　223,560 円（契約者：㈱ケイ設計）<br>■（仮称）福崎町多目的公園整備工事及び非常用電源設置工事を実施しました。<br>・（仮称）多目的公園整備工事　67,100,000 円（契約者：前川建設㈱）<br>・（仮称）多目的公園駐車場出入口整備工事　1,080,000 円（契約者：前川建設㈱）<br>・（仮称）多目的公園整備変更工事　12,801,240 円（契約者：前川建設㈱）<br>・（仮称）多目的公園非常用電源設置工事　8,701,560 円（契約者：㈱北山工商）<br>■スポーツ活動備品・事務用備品等を購入し、スポーツ活動が可能な環境を整備しました。<br>・グランド整地機　1,790,640 円（契約者：愛林工業㈱）<br>・ステージ（4 台）　777,600 円（契約者：㈲ふじおか）<br>・折り畳み椅子（150 脚）　466,668 円（契約者：㈱くれよん）<br>・フットサルゴール（2 組）　367,200 円（契約者：タック）<br>・ジュニアサッカーゴール（1 組）　259,200 円（契約者：㈱くれよん） |
| 成果 | □効果・達成度<br>野外イベント・各種大会等が多く開催され、広く町民に利用される施設を建設しました。<br>□課題・改善<br>町民が安全で快適にスポーツ活動を行える場を提供し、さるびあドームを利用した各種スポーツイベントの企画・運営を行います。また、地域振興の観点から、多様な活用を推進します。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 97,151,904 | 97,138,328 | | 8,900,000 | 79,593,813 | 8,644,515 |

| 事業名 | 多目的グランド周辺整備事業【新規】 |
|---|---|
| 事業内容 | 図書館南側の町有地及び西治ほ場整備事業にかかる創設換地の有効活用を図るため、さるびあドーム東側にスケートボード場及びボルダリング場を整備するために要した費用です。 |

| | |
|---|---|
| 成果 | ■（仮称）福崎町多目的グランド周辺整備測量設計業務及び非常用電源設置工事の実施設計業務を委託しました。<br>・多目的グランド周辺整備測量設計業務委託　2,700,000 円（契約者：三井共同建設コンサルタント㈱）<br>・非常用電源設置工事実施設計業務委託　132,840 円（契約者：㈱ケイ設計）<br>■福崎町スケートボード場整備工事及び非常用電源設置工事を実施しました。<br>・スケートボード場整備工事　18,214,200 円（契約者：㈲クレール）<br>・非常用電源設置工事　4,101,840 円（契約者：㈱北山工商）<br>■グランド周辺整備における用地の買戻し及び工業用水道用地の買上げ、創設非農用地に係る換地を行いました。<br>・工業用水道用地の買上げ　7,387,639 円<br>・用地の買戻し　995,970 円<br>・土地改良事業区域内における創設非農用地に係る換地　3,745,607 円<br>■スケートボードセクションを購入し、スケートボード等で活動できる環境整備を行いました。<br>・スケートボードセクション　5,670,000 円（契約者：㈱都村製作所）<br>□効果・達成度<br>スケートボード場及びボルダリング場を新設し、より多くの年代の方が親しみ、ふれあう施設を提供しました。<br>□課題・改善<br>町民が安全で快適に利用できるよう、利用方法等の周知・徹底に努めます。 |

| 予算額 | 決算額 | 財源内訳（単位:円） | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 42,948,096 | 42,948,096 | 27,068,000 | | 11,680,787 | 4,199,309 |

# Ⅳ　学識経験者の意見

（１） 就学前の子育て支援事業

- 子育て地域支援活動「すきっぷひろば」の実施は、親子と地域のお年寄りとの交流ができ、自分の居住地区内に限らず、どこの公民館でも参加できるのは柔軟でよい配慮だと思います。
- 「すきっぷひろば」「ともだちひろば」「にこにこひろば」などの運営は、子育て支援に資するものとして内容を充実させながら継続することが望まれます。これらの社会資源を真に必要とする人々へのアウトリーチ活動に、より積極的に取り組むことも期待したいと思います。
- 社会的な傾向にあるひとり親家庭に対する子育て支援を今以上に充実したものにしてほしいと思います。
- 幼児園で短時間と長時間預かるシステムは、ニーズに応じてとてもよいと思います。幼・保、一体となっての充実した指導がなされることに期待します。これからも保育教諭の人数の確保とともに資質向上がより一層求められると思います。
- センター方式による土曜日の学童保育の実施は、必要性の高い取り組みであると思われます。開設時間の延長についても、ぜひ積極的に取り組まれることを願います。学童保育園に学習プログラムを積極的に取り入れてほしいと思います。
- 放課後こども教室の運営について、他の児童の下校時刻に合わせるという目標は達成されています。一方で、貴重な時間であるという観点からは、今後の児童や保護者・学校関係者や地域の指導者などによるニーズの変化を捉え、より多様な内容の事業を構想されることが望まれます。

（２） 教育委員会関係事業

- 不登校指導員やＡＬＴなどの配置が効果を挙げているとのことです。その効果を検証し、必要に応じて加配などの措置を検討いただくことが望まれます。
- 国際理解教育、多文化共生教育に、より一層の取り組み強化を求めます
- 本年度全国学力・学習状況調査の結果は、小中学校ともすべての分野で全国平均を上回っていました。スクールカウンセラー及び学習支援員の配置によるきめ細やかな指導がなされた成果だと思います。今後も継続配置して、支援強化を図ってほしいです。
- 学校教育と社会教育の二課だけで多岐にわたる教育事業に取り組むことに無理があるように感じます。

（３） 学校関係事業

- 特別支援教室の施設整備を積極的に行い、特別な配慮を必要とする子どもを積極的に受け入れていることは高く評価できます。地域の小中学校において学ぶ機会を持つことができる意義は大きいと思われます。今後もこのような方向性を堅持されることを希望します。
- スクールカウンセラーの常駐化あるいは活動日数の増大について、検討の余地があるのではないでしょうか。

・ 昨今、いじめに原因があるらしい子どもの自殺の事件がよくあります。“いじめ”を発見するのはなかなか難しいとは思いますが、うちの学校には“いじめはない”と決めつけないで、アンテナを高くしていただきたいです。
・ 小学校・中学校ともに、施設の改修が着実に実施されているようです。田原小学校の体育館も事故なく完成に至ることを願っております。計画的な施設の補修や修繕を進めてほしいと思います。
・ 福崎東中学校にテニスコートが増設され、体育面での部活動は充実してきていると思います。それに対して、文化面での部活動（吹奏楽、茶道、箏曲等）が乏しいのではないでしょうか。

（４） 給食センター事業

・ 生徒、保護者アンケートを活用した献立を求めます。
・ 食育は大切だと思うので、引き続き取り組んでほしいと思います。
・ もち麦を使った給食を週１回だしているのはよいことだと思います。今後も地産地消を念頭に入れながら、バランスの取れた給食の提供に努めていただきたいと思います。

（５）社会教育事業

・ 家庭教育力の低下が問題とされている現代､｢地域教育力｣の役割は非常に大切です。町では、地域ぐるみの子育てを実現するために、さまざまな取り組みを積極的に推進していることを大変心強く感じます。より一層高みを目指してください。
・ 子どもたちの問題は、当事者だけの問題とせず、全世代でその解消に取り組む必要があると思います。
・ ＳＮＳ利用などにおける情報モラルに関しては、利便性や危険性のみに焦点を当てるのではなく、利便性と危険性の双方を理解できるような取り組みが必要です。
・ 人権啓発については、今後もその推進を継続することが強く望まれます。人権啓発冊子の具体的な活用法についても検討することが必要です。例えば高校生が出前授業をするのも新しい企画だと思います。
・ 成人式が厳粛な雰囲気の中で祝うことができたと、町民としてうれしく思います。企画、立案、記念品の選定、アトラクション準備、当日の式典の進行を新成人自らし、自分たちの成人式が進められたことはすばらしいです。これからもよき伝統として引き続いていってほしいです。
・ 吉識雅夫科学賞や柳田國男ふるさと賞の展示は､より多くの人に見てもらえるよう、展示施設を､関係施設以外にも役場など複数にするのもいいのではないでしょうか。
・ 国際食文化交流会の活動や日本語サロンは外国の方々の文化を尊重するためにもいいことだと思います。大人だけではなく子どもたちも一緒に参加できるような取り組みをお願いします。
・ いろいろな楽しいイベントが多く、町民はかなり満足しているように思われます。

（６）芸術・文化事業

- 老人大学やサルビアセミナーについて、文化の向上と集客のバランスの両面を考慮され計画されているのがうかがえます。今後も男性や若い世代の方の受講意欲を喚起し、新たな受講者の掘り起こしができるような企画を計画してください。
- 八千種研修センターまつりの今年のイベント内容の企画は工夫がされています。
- エルデホールでの自主公演事業は住民の要望に応えて内容もよく検討されており、実施回数も多く評価できます。今後も受講者の要望を考慮しながら、町主催だからこそ可能な講座や公演を計画いただくことを願います。
- 高齢化社会に対応するためには、年をとっても家にこもらず生涯にわたって学べる公民館、老人大学等の活動は、重要です。
- 文化センターやエルデホールの老朽化への対策を計画的に実施する必要があります。老朽化により活動内容も制限されているのが実態ではないでしょうか。
- 災害時の避難所になっている文化センターに、障害者トイレが新しく作られよかったです。さらに八千種研修センターのトイレの改修工事も進めてください。各施設のトイレの改修も考えていただきたいと思います。

（７）図書館事業

- 地域の知の拠点として重要であり、引き続き整備が進むことを期待しております。
- 自習スペースの要望について、図書館としての方針を立てて周知し、学習環境の整備に町としてどこまで関与するかを明確にされるのも必要ではないでしょうか。また、別棟、別館に自習室をつくれば活用の幅が広がります。
- お年寄りのための出張図書館（読みたい本の配達）があればと思います。

（８）文化財事業

- 辻川山公園や辻川界隈の整備が進み、観光資源が増えたことによる効果は大きいのではないでしょうか。今後も福崎町の観光資源の中核として更に整備が進むことを期待します。
- 駐車場への誘導路がわかりにくいので、案内板が必要だと思います。
- 観光ボランティアの方は丁寧でとてもいいと感じています。今後、高校生、中学生、小学生も加えていくべきではないでしょうか。
- 柳田國男検定を毎年実施することにより、郷土に愛着と誇りを持つ町民をより多く増やすことができると思います。
- 辻川山公園周辺の清掃は、年４回では少ないのではないでしょうか。町外からの来訪者が増えているので、清掃活動（ボランティアで）を毎週１回はして、常にきれいな公園にしたいです。
- 三木家修理が終わったら、古民家ライブやアートギャラリー等に使用できないでしょうか。
- 修復作業をもっと短期間で終了できないでしょうか。
- “かっぱ”の宣伝効果で福崎町に多数の観光客が来て、福崎の自慢できる所を見て

もらいよかったです。

- 最近メディア等で福崎町の“かっぱ”が取り上げられる機会が増えたように感じます。積極的な広報活動の成果ではないかと推察されますので、その効果を検証することで観光客の誘致がますます進むことを願います。

（９）社会体育事業

- 青少年野外活動センターについては、従前の稼働状況を現実的に踏まえ、冬場の稼動率等の目標をどのように設定するかを再考される必要があると思われます。稼動率を高めるため、冬場ならでこそのイベントを実施することも一つの方策ではないでしょうか。
- 青少年野外活動センターへの道幅を広げるべきだと感じています。案内板も不十分であり、利用者が「果たしてこの道でいいのか」「すれ違いができるのか」等不安におののきます。また、大型バスの乗り入れも視野に入れてほしいと思います。
- 野外活動センターは、大学のクラブサークルや社会人のサークルの合宿等の利用を促してもいいのではないでしょうか。
- さるびあドームを中心とした多目的グランドについては、今後の利用の推移をモニタリングして、有効に活用する方法を不断に検討することが望まれます。
- ３月に竣工したさるびあドームは、春夏秋と各種大会や練習等で多くの人が快適に利用できています。今後も一年間通して利用できるようにスポーツ大会や講習会、健康・スポーツ教室について、魅力ある内容を提供し、多くの人が参加できるような運営を目指していただければと思います。
- さるびあドームには倉庫に出し入れしなくてもよい、常設の椅子の数を増やして、ドームの前と後ろ側に（観戦応援したり、試合待機したり用）置いてはどうでしょうか。
- 各種施設が誰もが使いやすい場所として機能するよう、今後も運営や管理のあり方について利用者の意見を尊重し検討することが望まれます。
- 施設利用の申し込み、利用状況が一目でわかるように工夫する必要があります。
- 団塊の世代の退職者が多くなっている今、健康、スポーツ教室や地域のコミュニケーションの場に参加することは、介護予防面からも大切です。健康、スポーツ教室の、教室名、対象、実施曜日、時間、実施場所、申し込み方法等の一覧表があればよいのではと思います。

平成２７年１２月

福崎町教育委員会事務事業評価委員（５０音順、敬称略）

| | |
|---|---|
| 神戸医療福祉大学准教授 | 石　井　恒　生 |
| 住民代表 | 荻　野　理　恵 |
| 民生児童委員 | 塚　本　溢　美 |
| 兵庫県立福崎高等学校長 | 中　川　　守 |

# Ⅴ　参考資料

# 平成２６年度　福崎町教育の努力目標

平成２６年（２０１４年）４月　福崎町教育委員会

＜基本方針及び長期目標＞

## 「大地に根を張り、幹を太らせ、大きく伸び行く福崎の教育」

町民すべてがかかわる福崎町の教育をめざして

*キャッチコピー「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」*

＜平成２６年度重点目標＞

### １　就学前保育・教育の充実に努める。

１）「福崎町次世代育成支援対策後期行動計画」に基づき取組を進める。

２）保育ニーズの多様化に対応するため、高岡幼児園建設等引き続き幼保一体化の施設の整備を進めるとともに、就学前保育や教育の向上、幼稚園の保育年数拡大の研究に努める。

３）子育て支援センター・西部子育て学習センター・東部子育て学習センターの３ヶ所の子育て支援施設が連携し、さまざまな事業や子育てに関する情報提供、相談業務を行い、子育て支援機能の充実を図る。

４）外遊び、群れ遊びなどで遊びの創意工夫ができ、豊かな感性や思いやりの心を育てる快適な環境づくりに努める。

５）集団生活や話を集中して聞けるなどの社会性や基本的な生活習慣を育てる。

６）興味･関心、意欲･態度、判断力･表現力など、後伸びする力をつける。

７）発達障害の早期発見･早期療育を目的に、母子保健事業の各種健診や相談事業との連携を強化するとともに、発達障害児が適切な支援を継続的に受けられるよう、専門相談機関や保育所、幼稚園（幼児園）、学校の特別支援教育との連携を図るなど療育支援体制の整備･充実に努める。

８）保育所・幼稚園(幼児園)の５歳児と小学校との交流を進め、小１プロブレム解消に努める。

９）平成２７年度から施行される子ども・子育て支援新制度への移行に向け、「子ども・子育て支援事業計画」の策定及び条例整備などを進める。

### ２　学校教育の充実に努める。

１）人間性や基本的な生活習慣の向上に努める。

①　「自他の生命」を尊厳し、共生社会を共により良く生きていく力を養う。

②　生活習慣（起床時間、夕食時間、就寝時間）の確立を進める。

③「ひびき合う、あいさつ交わし、ささえ合い」、「早寝、早起き、朝ごはん」、「共に学び、共に伸び行く福崎っ子」など、スローガンの活用で町ぐるみの取組を展開する。

２）確かな学力＝「生きる力」と捉え、「知育」「徳育」「体育」「食育」を推進する。

①　学習習慣と意欲・集中力を学校・家庭で共に協力して育て、学力向上に努める。

ァ）学力向上プランを実践し、基礎学力の定着と向上に努める。

ィ）小中の交流学習を推進し、緊密な連携により、校種間の円滑な接続を図る。

ゥ）「福咲学力アップタイム」を創設し、反復学習による基礎・応用力をさらに高める。

エ）学力向上研究会で取りまとめた学力向上に向けた取り組みを各小中学校で実践する。

オ）公立高校普通科学区再編に関する研究と対策に取り組み、成果を得られるように努力する。

カ）朝読書や家読、「フクちゃん読書」を推進し、読書習慣を向上させる。

②　地域の歴史や文化財について学習する機会を増やし、「ふるさと福崎」についての興味・関心を高め、「柳田國男ふるさと賞」へと繋げる。

③　町立図書館、青少年野外活動センター、大庄屋三木家住宅、歴史民俗資料館、柳田國男･松岡家記念館など、社会教育施設との連携を図り、生涯を通じて自ら学ぼうとする意欲や関心を高める学習活動に努める。

3）人間的なふれあいに基づく生徒指導に努める。

①　校長のリーダーシップのもと、全教職員の共通理解を図り、統一して指導に当たる。

②　福崎町「健全な子どもの育成５つの方針」を周知徹底する。

③　「いじめ防止マニュアル」の実践と体罰厳禁で教職員と児童生徒の人間的なふれあいに基づく生徒指導に努め、児童生徒間では、「互いに支え合う仲間づくり・学級づくり」など好ましい人間関係を築き、社会のルールやマナーを身につけるなどの社会性を育てる指導に努める。

④　教育相談体制の充実を図る。

教職員のカウンセリングマインド研修や不登校指導員、スクールカウンセラーなどの配置で、児童生徒の悩み等を受け止める相談体制の充実に努める。

⑤　ブロウクン・ウインドウ論による早期発見･早期対応に努める。

ァ）いじめはどの子どもにも、どの学校にも起こる、という認識の下で、早期発見し、児童・生徒の力を活用しつつ早期対応・解消に努める。

ィ）不登校･不登校傾向に対しては、保護者や関係機関との連携を密にしながら、社会的自立に向けた早期対応に努める。

ゥ）問題行動に対しては、その背景にも目を向けながら即対応し、継続的に指導を続ける。また、「ダメなことはダメ」というゼロ・トレランス式指導も堅持する。

⑥　小１プロブレム・中１ギャップの解消に努める。

保育所・幼稚園（幼児園）と小学校、小学校と中学校の連携を深める体験入学などの交流活動を促進する。

4）感動・感激、実感・体感などの体験活動の充実に努める。

①　学校行事や部活動だけでなく、地域の祭事、家事手伝い、ボランティア活動などへの参加を勧め、充実感・達成感を味わう体験活動を進める。

②　発達段階に応じた夢を持ち、夢に向かう姿勢を育てる指導に努める。

5）いのちの教育の充実に努める。

未来のパパママ教室、介護体験、乳幼児保育、小動物飼育、里山散策、花栽培などで、人間と自然を愛し、命あるものを慈しむ心を持ち、命のかけがえのなさを実感できる人づくりを進める。

6）人権教育の充実に努める。

①　同和問題をはじめ、女性、子ども、障害のある人、高齢者、外国人、いじめ、虐待、不登校、ＤＶ、セクハラなど人権にかかわる今日的な課題の解決に努める。

②　不要な携帯電話・ゲーム機の使用・ブログや掲示板への誹謗中傷する書込みなど、情報モラルに関する指導に努め、人を傷つけたり犯罪に巻き込まれたりしないように周知させる。

③　人権フェスティバルを継続開催し、すべての生活に人権意識が行き渡る人権文化の創造に努める。

7）特別支援教育の充実に努める。

①　一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画により一貫した教育が行える指導体制の整備に努める。

②　*インクルーシブ教育システムを推進するとともに、通常の学級に在籍する発達障害のある、または、その傾向のある児童生徒についても同様の指導体制を整える。

③　学習支援員、介助員等を配置し、支援を要する児童生徒の学習面・生活面の支援に努める。

＊障害のある者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的のもと、障害のある者とない者が共に学ぶ仕組み。

８）食育を推進する。

①「福崎町食育推進計画」に基づき取組を進める。

② 生涯を通じた健全な食生活の実現、健康の確保、食文化の継承等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を育てる学習を進める。

③「早寝、早起き、朝ごはん」を奨め、朝ごはんの欠食をなくす取組を進める。

④「地産地消」、「不時不食」（旬の食材）、「もちむぎ」などの地元特産物食材利用に努める。

⑤ 給食費滞納の解消に努める。

⑥ 学校だよりや食育通信、ＰＴＡ会報等で食育の啓発・啓蒙を図る。

９）学童保育の拠点の拡充、活動環境の改善や指導員の資質向上を図る。

西部学童保育園、東部学童保育園の２園において、充実したきめ細やかな指導を推進する。

10）耐震改修が必要な田原小学校体育館の建設や既設建物老朽部分の改修など、安全安心な施設・設備の整備や維持に努め、教育環境の向上を図る。

## ３ 家庭の教育力を高める。

１）家庭教育学級の開設 （幼稚園・幼児園・小中学校）

① 子どもの人間形成の基盤は「家庭」であり、研修会等により保護者の子育て支援をおこなう。

② 子育てについての親の抱える問題や社会的に学ぶ必要のある課題に対応した、学習会や講演会の開催を実施する。

③ 保護者の奉仕活動やスポーツ大会を開催し、連帯感の育成や子育て情報の共有に努める。

２）ゲームなどのバーチャルリアリティ体験を減らし、ノーゲームデー、ノーテレビデーの取組を進め、家事手伝いの習慣化を図る。

３）可能な限り、家族団らんの食事、特に夕食における団らんの大切さを啓発する。

４）生活習慣（起床時間、夕食時間、就寝時間）や家庭学習時間の確保など、自学自習習慣の確立を保護者の協力を求めて進める。

５）大人の規範意識の向上を図る「大人が変われば、子どもが変わる」取組を進める。

## ４ 地域の教育力を高める。

１）「環境は人をつくり、人は環境をつくる」と言われる中、すべての地域住民が子どもたちの健全育成にかかわる取組を進める。

① 研修会、講演会等により、地域住民の青少年健全育成意識を高める。

② 啓発リーフレットの作成や広報車等を活用した啓発活動により「地域の子どもは地域で育てる」環境づくりに努める。

③ 子ども会活動の推進により各地域で異年齢交流を進め、子どもたちとふれあう取組を進め社会性を育てる。

２）各種団体に協力を求め、健全育成地域づくりに努める。

① 青少年補導委員会や PTCA の活動を支援する。

② 地域教育推進委員会（県民交流広場）の活動を支援するとともに、委員会相互の連携を図る。

３）自治会研修会の活性化を図る。

地域の活性化を図るため、人権・青少年健全育成研修を実施する。そこでは、地域の身近な課題を取り上げ、参加・能動型の研修会にし、住民の興味・関心を喚起する。

４）学校支援地域本部事業の充実を図る。

① 地域の人材を発掘し、地域の教育力を学校教育に生かす取組を進める。

② 学校支援者が、児童生徒と喜びを分かち合い、自らの生きがいにつながる活動を創造する。

③ 土曜教育支援体制構築事業を利用し、英語を中心とした小学校土曜日教室を校区毎に開講する。

## ５ いつでも、どこでも、だれでも学びたいことが学べる生涯学習の充実に努める。

1）２人の名誉町民（柳田國男・吉識雅夫）を顕彰し、郷土への愛着と誇りを持つ子どもを育てる。

① 地域の歴史や文化をテーマに優れた研究を行った児童生徒に対し、「柳田國男ふるさと賞」を贈る。子どもたちが、氏の功績や郷土の歴史を再認識する取組を進める。

② 子どもたちの自然科学に対する興味、関心、意欲を高めるために、自然科学分野で優れた研究、観察、製作を行った児童生徒に対し、福崎町「吉識雅夫科学賞」を贈るとともに、広く町民に氏の顕彰を図るため、遺族から寄贈された遺品の活用に努める。

2）芸術・文化活動の推進に努める。

① 図書館では、情報公開コーナーや蔵書の充実を図り住民サービスに努める。

②「福崎町子どもの読書活動推進計画」に基づき子どもの読書習慣が身につくよう、毎月 29 日を『フクちゃん読書の日』として、学校と連携し各種事業を展開するとともに、家庭への啓発活動に努める。

③ 「読書ノート」を作成、町内小中学生へ配布し、読書記録を残すことで、読書への関心を高め、楽しんで読書をする環境作りに努める。また、一般の方にも読書を促すよう「読書ノート」を希望者に配布する。

④ 図書館応援隊を支援し、特色ある図書館活動を推進する。

⑤ エルデホールの自主事業は、地域住民の要望に沿ったもの、若者層をターゲットにしたものなど、それぞれのテーマに分け実施する。また、住民が自ら企画運営できる住民企画事業や地域文化の底上げを目的に、芸術文化の各種催しを企画立案できる人材を育成する文化プロデューサー育成事業を継続実施する。

⑥ 歴史民俗資料館は、郷土の歴史・文化に関する資料収集・保管・展示の内容を精査し、より深く継続的に活動できるよう、柳田國男・松岡家記念館と連携し、一体の運営に努める。また、歴史民俗資料館の特別展では、『町内の古墳』をテーマに開催し、地域の豊かな歴史・文化に親しめるよう取り組む。また、記念館では松岡家五兄弟の功績を紹介し、新たに整備された学問成就の道につなげてより深く理解いただく機会とする。

⑦ 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと共同研究を引き続き実施し、地域の歴史遺産掘り起こしについて取り組む。

3）柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館等で形成される文化ゾーンを軸とした文化財の保護・活用の推進に努める。

① 本年度新たに「柳田國男検定」を創設し、國男の功績や生誕地福崎町の発信に努める。検定試験は、小・中学生にも多く参加してもらえるよう取り組み、検定を通じて、柳田國男の功績を知り、理解を深めていただく。

② 第３５回山桃忌は「柳田國男とアジア」をテーマに、アジアの視点から柳田國男について考えるシンポジウムをエルデホールにて実施する。

③ 大庄屋三木家住宅の保存修理工事が５年目となり、引き続き主屋部分の復元工事を進める。地元や各種委員会、有識者の意見を交え、管理・活用計画の検討を引き続き実施する。

④ 町立柳田國男・松岡家記念館が住民に愛され親しみのある施設となるよう各種事業に取り組む。

⑤ 辻川山周辺（特に「短歌の森」「学問成就の道」）を町民の憩いの場として住民が気軽に利用できるよう、地元や各種団体の協力を得ながら引き続き整備、広報に努める。

⑥ 地域の先祖の営みを紹介するため、遺跡から読み取れる、当時の生活の紹介や発掘された出土品を展示するなど住民に埋蔵文化財への関心を高める。

⑦ 傷みが目立つ柳田國男生家の茅葺き屋根を補修し、美観と耐久性を高める。

4）社会体育、野外活動などのスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに努める。

① スポーツ指導体制の確立、普及活動の充実、既存団体の育成・発展に努める。

② 総合型地域スポーツクラブのサポートに努める。

③ 各種健康スポーツ教室・大会等の充実に努め、町民の体力向上を図る。

④ 社会体育施設の充実のため、多目的ドームの建設、第１体育館の耐震補修、文化ゾーン駐車

場整備を進める。

⑤　自然景観が優れた野外活動センターを住民に周知、利用を促す広報に努める。

5）参加しやすく魅力ある公民館活動の運営に努める。

①　学習や活動を通じて人と人との交流を深めるとともに、学習成果の発表で生き甲斐を高める。

②　町民の要望に応える多様な学習機会を提供し、各種講座、教室等の内容の充実に努める。

③　若年世代の参加を図るよう努める。

## 6 開かれた教育委員会の推進に努める。

1）教育委員会議事録をホームページに掲載するなど、情報提供に努める。

2）所管施設の現状を認識するために、定期的に所属長との面談や現場視察をする。

3）「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「事務事業点検評価」を引き続き実施、公表し、住民から広く意見を求めるように努める。

4）教育委員会制度の見直し等に関する研修･研鑽を深め「不易」「流行」を見極める。

# 福崎町教育委員会事務事業評価委員設置要綱

（目的）

第１条　福崎町教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図ると共に、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果の報告書を議会に提出し、公表するものとする。なお、点検・評価を行う際、学識経験者の知見の活用を図るため、福崎町教育委員会事務事業評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

（役割）

第２条　評価委員は、教育長の求めに応じ、教育委員会事務事業について意見を述べるものとする。

（定数）

第３条　評価委員の数は、３名程度とする。

（任期）

第４条　評価委員の任期は、１年とする。初年度は委嘱の日からその年度末までとする。なお、再任は妨げない。

２　評価委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

３　評価委員は、特別の事情があるときは、その任期の途中で評価委員の委嘱を解くことができる。

（委嘱）

第５条　教育委員会は、委嘱状を交付する。

（教育委員会事務事業評価委員会）

第６条　教育長は、評価委員が意見交換するための教育委員会事務事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設けることができる。

２　委員会は、教育長が招集する。

３　委員会は、関係職員等の出席を求めることができる。

（守秘義務）

第７条　評価委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

（その他）

第８条　この要綱に定めるものの他、必要な事項は、別に定める。

附　則

この要綱は、平成２１年７月１０日から施行する。